

# 目 次

I	はじめに..... 校長 長森順子	2
II	平成26年度学校概要.....	3
III	各部署の取り組み	
1	インスパイア・ハイスクール事業（魅力ある高校づくり）.....	4
2	中高連携環境美化活動.....	5
3	商店街空店舗活用「千高街の駅」.....	6
4	オープンハイスクール.....	7
5	第6回保幼小中高合同「ふれあい文化祭」.....	8
6	オープンスクール（学校公開週間）.....	9
7	平成26年度「防災避難訓練(校内・地域)」.....	10
8	総合的な学習の時間.....	11
9	千種町学校園連携授業の記録.....	12
10	アクティブ授業（内）の記録.....	13
11	アクティブ授業（外）の記録.....	14
12	ロングホームルーム活動（LHR）.....	15
13	高校生心のサポートシステム実践研究（ネット利用問題改善運動）.....	16
14	原生林ツアー・サブリーダー参加の記録.....	19
15	第40回千種高校文化祭.....	20
16	第40回千種高校体育大会.....	21
17	第6回千種中高連携マラソン大会.....	22
18	生徒会主催「百人一首大会」.....	23
19	千種中高連携生徒会執行部ミーティング.....	24
20	40回生進路状況報告.....	25
21	校内外進路ガイダンス・進路検討会.....	27
22	平成26年度実施模擬試験の記録.....	29
23	平成26年度実施の健康教育.....	30
24	平成26年度身体測定の記録.....	31
25	教育相談活動（キャンパスカウンセリング）.....	32
26	人権教育の概要.....	33
27	第1学年「皆生・大山野外活動」.....	35
28	第1学年「就業体験」（アクティブデイズ）.....	36
29	第41回生修学旅行.....	37
30	40回生3年間の取り組みについて.....	38
31	学校間交流の記録（家島高校・赤穂特別支援学校）.....	39
32	平成26年度消費者教育への取り組み.....	41
33	長崎県立大崎高等学校視察ご来校の記録.....	42
34	兵庫県議会文教常任委員会管内視察の記録.....	43
35	兵庫県教育委員・玉岡かおる先生出前授業.....	44
IV	各教科の取り組み	
1	漢字能力検定.....	45
2	数学検定.....	46
3	英語検定・千種町英語教育研究会.....	47
4	千種川水温調査・水生生物調査等の記録.....	48
5	商業関係検定.....	50
6	ビジネスプラン・グランプリへの取り組みについて.....	51
V	部活動の取り組み - 光る汗・輝く瞳・草魂千種の活動記録 -	
1	硬式野球部.....	52
2	サッカー部.....	52
3	男子バレーボール部.....	53
4	女子バレーボール部.....	54
5	ゴルフ部.....	55
6	ライフル射撃部.....	56
7	スキー部.....	56
8	茶華道部.....	57
9	カルチャー部（軽音楽）.....	57
10	ボランティア部.....	58
11	パソコン部.....	58
VII	平成26年度式典の記録	
1	入学式 校長式辞.....	59
2	卒業証書授与式 (1) 校長式辞.....	60
	(2) 在校生送辞 (3) 卒業生答辞.....	61
VIII	平成26年度学校評価.....	64
IX	平成26年度年間実施行事.....	66
X	平成26年度の広報活動.....	68
	編集後記.....	69

## I はじめに

### 「ADVANCE! (前進) ～地域とともに～」



県立千種高等学校

校長 長森 順子

『千種高校展望』の発刊に寄せて、本校の1年間の教育活動を振り返り、その先へと繋げていくための進むべき道に思いを巡らす時となりました。平成22年度に兵庫県下初の『連携型中高一貫教育校』として、宍粟市立千種中学校との連携が始まり、「明るいあいさつ」・「さわやかな笑顔」が校風となり、純真で素朴な「千高生」が育まれてきています。

今年度、この中高連携一貫教育は5年目の節目を終えました。これからは、連携に関する教育活動の更なる充実を図るべく、園、小、中、高を見通した一貫性のある教育活動の展開が望まれています。その一つとして本校では、生徒の心に響く体験活動に取り組んできました。体験から得た学びは生徒一人ひとりの心の中にしっかりと育ち根を張り、生徒の内面の成長に繋がっていきます。

これからも、千種の豊かな自然と地域の方々の温かいまなざしを感じながら、生徒が目をは輝かせて主体的に活動できる場と機会をつくり、「こころ豊かで自立した人づくり」に取り組んでいきます。そして、小規模校ではありますが、小規模校だからできること、小規模校でもここまでできることに目を向けながら「千高生」が地域の核となり、地域になくてはならない信頼される学校、保護者や地域と連携しながら開かれた学校づくりを全教職員一丸となって行い、これからも地域とともに前進してまいります。



## II 平成26年度 兵庫県立千種高等学校 学校概要

- 1 所在地：兵庫県宍粟市千種町千草 727 番地 2  
〒671-3201 TEL 0790-76-2033(代) FAX 0790-76-2233  
位置：海拔 328.57m 東経 134 度 26 分 北緯 35 度 8 分
- 2 沿革：昭和 23 年 10 月 1 日 県立山崎高等学校千種分校（学級数 1）として開設  
昭和 50 年 4 月 1 日 兵庫県立千種高等学校として独立  
昭和 63 年 11 月 27 日 学校開設 40 周年記念式典  
平成 10 年 6 月 19 日 学校開設 50 周年記念公演  
平成 13 年 5 月 1 日 文部科学省「研究開発学校」指定  
平成 17 年 6 月 2 日 文部科学省「コミュニティ・スクール推進事業調査  
研究校」指定  
平成 19 年 4 月 1 日 「県立高等学校小規模校活性化支援事業」指定  
平成 20 年 6 月 21 日 学校開設 60 周年記念文化祭開催  
平成 22 年 4 月 1 日 「連携型中高一貫教育校」に改編

### 3 教職員組織：（\*は非常勤講師）

校長	長森順子
教頭	原田尚昭
事務長	尾崎隆博
国語	西佑一郎、安積拓男、北原泰幸*
数学	照本和生、坂根大樹
英語	松井利澄、田中考英、岸めぐみ*、David Berg
理科	筏 泰介、中村増男*
地歴公民	八十川洋一、鳥居政義*
保健体育	福永順二郎、上山麻美
商業情報	戎原進一、高野安信*
家庭	中村かおり*
芸術	武野初美*、野村直城*
養護	八田直子
事務	橋本かすみ、池田幸司、山木康子
茶華道	小原千鶴子*
学校医	藤多和彦（内科）、横川浩己（眼科）、柴原豊弘（耳鼻科）、林 大輔（歯科）
薬剤師	田口 勉



### 4 在籍生徒数（平成 26 年 5 月 1 日現在）

性別	学年			合計
	1 学年	2 学年	3 学年	
男子	22	21	20	63
女子	9	16	12	37
計	31	37	32	100

## II 平成26年度各部署の取り組み

### 1 平成26年度インスパイア・ハイスクール事業

総務部

#### (1) トップアスリート講座 (8月2日プロゴルファーによるゴルフ直接指導)

[於：千草カントリークラブ]

千種高校ゴルフ部員と地域住民約12名が、地元栄栗市を中心に活躍されている香川広高プロの指導を受け、飛距離の伸びる打ち方や正確なパターの方法について多くのことを学んだ。また、難関コースの攻め方や瞬時に地形を読んで思い通りの方向に球を飛ばす方法など、プロならではの話題満載の非常に有意義な機会であった。



#### (2) 地域のサイエンスアデミーデミー (7月26日、10月10日)



7月26日 (夏祭り：千種小学校)

10月10日 (千種中学校3年生)

地元の小中学生が科学に興味を持ち、日常生活の中で様々な不思議を体験することができる機会を提供するべく、本校の理科教諭が地元の祭りや小中学校に出かけて行って理科の実験を行っている。7月に行われた妙見夏祭りでは「炭酸ジュース作り」「ペットボトルロケット作り」を行った。中学校の理科室では、アユの解剖を行い目を丸くする姿が印象的で、小中学生たちが科学への扉を開いてくれる素晴らしい機会となった。

#### (3) 地域スポーツ教室

##### ① 地域サッカー教室 (8月19日) [於：千種高校グラウンド]

地元の小学生が、夏休みの活動の一環としてサッカーに親しむ機会を設けている。指導は本校のサッカー部顧問とサッカーの専門である千種小学校教頭、サッカー部員10名が当たり、サッカーを専門的に行う機会の少ない子ども達に貴重な機会を提供した。当日は、一般児童に学童保育の児童も加わった約50名の子ども達が、サッカーボールを用いたゲームから入って実践的な試合までを行い、心地よい汗を流すことができた。



##### ② 地域バレーボール教室 (8月19日) [於：千種高校体育館]

地元の小学生、中学生、高校生が、一堂に会し、夏休みの活動の一環としてバレーボールに親しむ機会を設けている。指導は本校のバレー部顧問と千種中学校顧問、千種少女バレーボールクラブの監督で、千種町内のバレーボールに携わる全ての児童・生徒が練習を行う貴重な機会を提供した。当日は、基礎的な練習から実践的な試合までを行い、縦の連携を強化できたと同時に、心地よい汗を流すことができた。



## 2 中高連携環境美化活動

総務部

(1) 目的：中高連携事業、PTCA 奉仕活動の一環として、中高生と地域が連携・協力しながら清掃、美化活動をすることによって、校区内の環境問題について考える体験活動を行う。

(2) 日時：平成 26 年 6 月 3 日（火） A 班 12:10～15:30 B 班：13:10～14:40

(3) 場所：A 班：志引峠 B 班：校区内道路および周辺施設

(4) 参加者：A 班：生徒：中 3 生 32 名、高 1 生 31 名、高 2 生 37 名 計 100 名

教員：中学 4 名／高校 6 名

一般：市民局、環境保全委員、高校 PTA、千種高校を支援する会、地域住民

B 班：生徒：中 1 生 31 名、高 3 生 32 名 計 63 名

教員：中学 4 名／高校 4 名

(5) 日程：マイクロバスにより、現地までピストン輸送

A 班：1 便 12:10 高 2 高校出発→12:30 頂上で作業開始

2 便 12:45 中 3 中学校出発→13:00 中間地点から作業開始

3 便 13:15 高 1 高校出発→13:30 中間地点から作業開始

14:30 頂上手前にて全生徒合流→14:35 閉校式（中学担当）

→14:45 頃下山開始

B 班：一部現地集合・現地解散

(6) B 班の班編成、清掃区域

班	コース	中1男	中1女	高3男	高3女	計	付添職員
1	西門より。商店街・大広場・市民局・JA	2	3	3	2	10	井原
2	東門より。自動車道・ローソン・エーガイヤ	2	3	3	2	10	村上
3	東門より。バス車庫内→R429→二宮神社内	2	2	3	2	9	照本
4	千種幼稚園（草引き）[高校集合]	3	3	4	2	12	田中・松井
5	杉の子保育園（草引き）[現地集合解散]	2	3	3	2	10	入田
6	ちくさの郷（草引き）[現地集合解散]	3	3	4	2	12	安積、西澤

〈 活動の様子 〉



### 3 商店街空き店舗活用「千高街の駅」

総務部

#### 1. 事業の概要

平成26年度、千種高校は商店街空き店舗を活用した新たなる事業に着手した。生徒が町の中に出て地域住民との交流を図り、本校の教育活動を広く紹介することによって学校と地域の繋がりを深め、できるならば千種町の活性化に貢献できればと考えている。

「千高街の駅」は、宍粟市の補助事業「地域の教育力を高める街づくり事業」を活用して実施した。事業主体は「千種高校を支援する会」であり、地域の皆様方の広いご支援を得て推進しているものであり、以下の内容を活動の柱及び目標として本事業を展開している。

(1) 千種高校教育活動発表の場

教育活動紹介パネル常設展示、生徒作品展示、特色ある部活動の発表

(2) 千種町内異世代間交流の場

保幼小中各学校園発表の場、地元自治会とのふれあいの場

(3) 商店街連合会＋高校生による商業体験の場

「ビジネス基礎」選択者による販売実習を始め、将来的には商店街連合会と共同で特産品の開発を手掛けたい。

(4) 中高のALT（外国語指導助手）を活用した国際交流の場

月に1回（平日夕刻）、同店舗を会場に町民が集って英語で話し、ゲームを楽しんだりして異文化に触れ、同時に千種の民話等を英語で発信する空間づくりをする。

(5) 「711を忘れない！」千種防災意識啓発の場

店舗内に昭和38年7月11日の千種川大洪水の記録写真と千種町中心部の地形ジオラマを常設展示し、50年前の惨禍を忘れず、常に「備える」ための空間として活用する。

#### 2. 事業の実際

平成26年度は、まず空き店舗の紹介を「千種町商店街連合会」様からしていただくことから始まり、開店に向けての準備に時間を要したので、実質的には7月から3月までの展開となった。活動実績は以下の通りである。

月 日	活 動 内 容	参加人数
7月26日(土)	第1回「千高街の駅」開催（妙見夏祭り）	約30名
9月16日(火)	第1回「英会話教室」開催	7名
10月14日(火)	第2回「英会話教室」開催	6名
10月26日(日)	第2回「千高街の駅」開催（ふれあいフェスタ）	約60名
11月18日(火)	第3回「英会話教室」開催	8名
12月21日(日)	第3回「千高街の駅」開催（クリスマスランド）	約30名
1月20日(火)	第4回「英会話教室」開催	7名
2月17日(火)	第5回「英会話教室」開催	7名
3月17日(火)	第6回「英会話教室」開催	8名



## 4 平成26年度 オープンハイスクール

総務部

(1) 日時：平成26年7月31日(木) 8:45～12:10

(2) 参加中学生：

中学校	千種	山西	波賀	山南	佐用	三土	山東	一北	一南	上津	三日月	天王	計
男	21	8	1	2	2	2	1			1	1	1	40
女	10	3	4	1				1	1				20
計	31	11	5	3	2	2	1	1	1	1	1	1	60
保護者		4	3	2	1	2			1	1	1	1	16

※中学校引率教員約10名

(3) 日程：

時刻	項目	実施内容	場所	備考
8:30～8:40	受付		生徒玄関	生徒・職員
8:45～9:25	開会行事	1 挨拶(3分) 校長 2 学校全般紹介(8分) 教頭 3 教育課程(10分) 教務部長 4 部活動・生徒会紹介(14分) 生徒会 5 質疑応答(5分)	体育館	校長 教頭 松井 生徒会 八十川
9:25～10:00	見学	部活動見学等	グラウンド 体育館	生徒会誘導 3班編制
10:15～11:00 希望選択	授業体験①	【英語】 担当：松井 (2-1) 5人	【数学】 担当：照本・坂根 (3-1) 26人	【情報】 担当：戎原・八十川 (コンピュータ室) 29人
11:15～12:00 希望選択	授業体験②	【国語】 担当：西 (2-1) 7人	【理科】 担当：筏・田中・ 八十川(化学室) 39人	【アクティブ】 担当：上山・福永 (体育館) 14人
12:00～12:10	教室ごとにアンケート記入後解散(千種中は午後連携部活動)			

※引率教師と保護者の控え室：調理実習室

(4) 授業体験内容：

- 英語「気分は南国～グアム修学旅行体験ツアー～」
- 数学「人に教えたい図形パズル」
- 情報「アニメーションで情報クイズを作ろう」
- 国語「たほいや、ことばの魅力！」
- 理科「-196℃の世界、すべてが凍る不思議な液体」
- アクティブ「めざせ！プロゴルファー！」



## 5 第6回保幼小中高合同「ふれあい文化祭」

総務部

千種町は「連携・一貫教育」の先進地であり、その象徴的行事が「保幼小中高合同ふれあい文化祭」である。小中合同や中高合同を聞くことはあれど、これだけの異年齢交流を擁する行事は他町他府県では類を見ない。このような活動を数年にわたって継続してきた経緯から、千種町は平成25年に、各校園PTA合同の「ちくさっ子を育てる会」の誕生を見た。この千種町には新たな動きを創出し、子供たちに明るい未来を引き継いでゆこうとするエネルギーがある。

「ふれあい文化祭」は、一日にわたって行われる行事であるが、この項では高校が参加した「午前の部」のみ掲載することとする。

- (1) 目的：①保幼少中高による合同文化祭（合同行事）を実施することにより、連携のあり方についてさらに研究と工夫を深める。  
 ②園児、児童、中学・高校生徒による合同文化祭をとおして、子どもたちの異年齢交流を深めるとともに連携意識を高める。  
 ③合同文化祭の活動をとおして保幼小中高の連携の素晴らしさを保護者・地域住民に理解してもらい、情報発信・啓発の機会とする。
- (2) 日時：平成26年11月2日（日）8時50分開演（午後には小中合同文化祭）  
 (3) 会場：千種小学校体育館  
 (4) プログラム（内容等）：

「保幼小中高合同ふれあい文化祭」プログラム	
【午前の部】	【8:50 開演】
1 開会〈10分〉	
(1) 代表校長あいさつ（千種中学校長 喜多 英雄…幼小中高連携担当校長）	
(2) 園児・児童・生徒代表あいさつ（千種中学校 生徒会長 春名 優矢）	
2 千種杉の子保育園 う た「あおいそらにえをかこう」（4・5歳児） 〈20分〉 ダンス「ナミナミナ」（〃）	
3 千種幼稚園・千種高等学校連携 〈20分〉 う た「ともだちになるために」（全園児） 「きっとできる」 ダンス「南中ソーラン」（全園児&高校2年生）	
4 千種中学校 英語スピーチ「No Rain, No Rainbow」（3年 小松 未奈美） 〈15分〉 英語スピーチ「To Take Life, To REceive」（3年 磯崎 太一）	
5 千種高等学校 情報モラル啓発劇場「インターネットの落とし穴」（1年生） 〈15分〉	
6 千種小学校 〈30分〉—音楽発表— 合奏「小さなせかい」（3・4年生） 合奏「宇宙戦艦ヤマト」（5・6年生） 合唱「世界の子どものマーチ」 「ありがとうの花」（全校生）	
(休憩) (休憩・舞台準備：約10分)	
7 千種小学校 〈60分〉—演劇— 「ねことすず」（1年生）「どんぐりと山ねこ」（2年生） 「ちいちゃんのかげおくり」（3年生）	
8 千種中学校・千種高吹奏楽部 〈20分〉 「アナと雪の女王」他 ◇ 校長あいさつ（県立千種高等学校長 長森 順子） 園児・児童・生徒代表あいさつ（千種高校生徒会長 森脇 大地）s	

(5) 参加園児・児童・生徒数（教員数）：

杉の子保育園	16名（4名）	千種幼稚園	16名（4名）
千種小学校	120名（19名）	千種中学校	93名（15名）
千種高等学校	99名（17名）	合計	344名（59名）

## 6 平成26年度オープンスクール

総務部

平成26年度においても、県民教育推進月間である11月に期間を設定し、授業・部活動・施設等について、広く地域住民に公開し、今の千種高校を直接見ていただく機会を設けた。今年度も中学3年生や保護者が進路選択の参考に多数来校し、結果的に出願に結び付いた。

- (1) 目的：
  - ・授業内容、部活動、施設を広く公開することにより、地域に信頼される学校を目指す。
  - ・公開した授業をもとに、指導方法や指導技術向上に向けた意見交換を行い、その成果の普及を図る。
- (2) テーマ：「学ぶ意欲を高める授業のあり方」  
(確かな学力を身につけさせ、実力を高め、併せて成績不振者を無くす。)
- (3) 日程：11月25日(火)～28日(金)  
公開授業週間の後、放課後「学ぶ意欲を高める授業のありかた」について反省会を実施する(11/27 2限 筏先生研究授業)
- (4) 対象：教職員、保護者、中学校生徒・職員、地域住民の皆様

### (5) 実施方法：

[オープンスクール]

- ① 期間中どの時間どの教科の授業も自由に参観できるようにする。
- ② なるべくたくさんの教科・科目を参観する。
- ③ 研究授業として実施する場合は、可能な範囲で略案や授業のプリント等を用意する。
- ④ 改善点等や、気付いたことは、授業参観カード(別紙)に記入する。
- ⑤ 本校教職員以外には、アンケートへの協力を依頼する。

[今後の改善に向けて]

- ① 期末考査に向けて、各教科で成績不振者への手立てを考える。
- ② 優れた取り組みがあれば、教務に報告する。教務は各教科・科目での優れた取り組みをまとめて、職員会議等で発表し、その成果の普及を図る。

千種高等学校  
連携型中高一貫教育校  
オープンスクール  
2014

授業「英語」 授業「情報」  
部活動「バレー」 部活動「野球」

私が変わる! 私を変える千種高校!

期間中、ほぼすべての授業・部活動・施設を公開します。  
いつでもお越しください!  
普段着の高校生活の様子を、ぜひご覧ください。

期間 11月25日(火)～28日(金)  
時間 8:35～17:00  
場所 県立千種高等学校

千種高校ネットワーク  
なかみ チューン・アップ・サマーズ

詳しくは、千種高校OHPをご覧ください!  
http://www.chikusa-hs.jp

### (6) 来年度への展望：

「オープンスクール」とは、文字通り学校を一般に広く公開することによって学校への理解を深め、尚且つ自らの授業力に磨きをかける絶好の機会ではあるが、現行の在り方は今少し積極性に欠ける傾向がある。来年度は広報活動に一層力を入れつつ、授業公開や学校説明会を行い、いわゆる「第2回オープンハイスクール」として位置付けるべきであろう。

## 7 平成26年度「防災避難訓練（校内・地域）」

総務部

「防災避難訓練」は、地域と連携した運営と、中高生でもいざという時には地域の大きな力となることができるように自信をつけさせることが肝要である。但し今年度については、日程の都合で保幼小中高合同文化祭と重なってしまったので、大掛かりな地域連携体制はとれなかった。それでもPTA等の参加を得たが、避難訓練に併せて、地域の取組を知る意味で「平成26年度消防操法大会DVD」を鑑賞し、千種における過去の災害をまとめた「千種川大水害の記録」と題するスライド上映を行った。加えて千種市民局による、避難所運営及び備蓄物資のご説明をいただいた。また市民局のご厚意により生徒全員、非常用食料をいただいた。

- (1) 日時：平成26年11月2日（日）
- (2) 想定災害：地震による火災（自動販売機が転倒し出火を想定）
- (3) 避難場所：体育館
- (4) 避難経路：全学年体育館へ避難
- (5) 内容：

時間等	担当等	内容等	職員の対応等
午前中		第6回保幼小中高合同ふれあい文化祭	全教員・全校生小学校
13:10	担任	LHR	
13:35 地震	放送	「訓練、訓練、訓練 大きな揺れを伴う地震が発生しました。生徒は落ち着いて先生の指示に従いなさい。状況を確認して、再度放送します。」	放送（教頭） 西・田中保健室前へ。火災発見
	担任	「余震のおそれがあるので、机の下にもぐりなさい。机の脚をしっかりとち、窓と反対側を向きなさい。」	八十川 教頭・橋本さんに連絡 福永・西・田中
13:36 火災	放送	非常ベル（計測開始・八十川） 「訓練、訓練保健室前の自動販売機から火災発生。先生の指示に従って体育館へ避難しなさい」（放送：教頭）	橋本 119通報（右頁参照） 教頭 非常ベル 教員 各任務実行
	担任	「スリッパのまま体育館へ行きます。その際、走らない、しゃべらないこと。〇〇君から順に廊下を出なさい。」（2・3年生も「特棟」経路） 消化・消灯・窓しめ、カーテンあける（担任）	特棟2階全生徒合流の為混雑 担任 出席簿持ち出す 委員長→担任→教頭（副隊長）→校長（隊長） [今回は教頭まで]
13:45		集合点呼・報告完了・整列待機 本館に向かって全校集会時と同じ隊形	
13:45	消防	避難訓練講評、及び訓話等	進行：八十川
13:55	教頭	防災学習	進行：八十川
		「避難所開設時使用物品について」市民局 「平成26年度消防操法大会DVD」鑑賞 「千種川大水害の記録」スライド上映・講話	
14:45	閉会	HRでの防災教育指導	各クラスHR担任



## 8 「総合的な学習の時間」の記録

教務部

月	日	1年		2年		3年	
テーマ		体験を通して生き方を考える自己発見演習		自己理解と異文化		自己理解と進路実現	
4	14	4限	インプロ①	5限	インプロ①	6限	インプロ①
	21	振替休業日					
	28	4限	自己発見演習①	5限	グアム課題研究①	6限	進路実現に向けて①
5	5	こどもの日					
	12	4限	インプロ②	5限	インプロ②	6限	インプロ②
	19	中間考査					
	26	4限	インプロ③	5限	インプロ③	6限	インプロ③
6	2	4限	表現ノート①	5限	グアム課題研究①	6限	進路実現に向けて②
	9	4限	表現ノート②	5限	グアム課題研究②	6限	進路実現に向けて③
	16	振替休業日					
	23	4限	インプロ④	5限	インプロ④	6限	インプロ④
	30	4限	表現ノート③	5限	グアム課題研究③	6限	進路実現に向けて③
7	7	期末考査					
	15	球技大会					
9	8	4限	インプロ⑤	5限	インプロ⑤	6限	インプロ⑤
	15	敬老の日					
	22	4限	千種学①	5限	グアム課題研究④	6限	千種学①
	29	4限	インプロ⑥	5限	インプロ⑥	6限	インプロ⑥
10	6	振替休業日					
	13	体育の日					
	20	4限	千種学②	5限	グアム課題研究⑤	6限	千種学②
	27	4限	インプロ⑦	5限	インプロ⑦	6限	インプロ⑦
11	3	保幼小中高ふれあい文化祭					
	10	4限	表現ノート④	5限	修学旅行	6限	個人発表準備①
	17	4限	インプロ⑧	5限	インプロ⑧	6限	インプロ⑧
	24	振替休業日					
12	1	4限	自己発見演習①	5限	修学旅行[班別]体験発表準備①	6限	個人発表準備②
	8	4限	自己発見演習②	5限	修学旅行[班別]体験発表準備②	6限	個人発表準備③
	15	4限	表現ノート⑤	5限	修学旅行[班別]体験発表	6限	学年内個人発表会 I
	22	防災訓練					
1	12	成人の日					
	19	4限	表現ノート⑥	5限	千種学①	6限	学年内個人発表会 II
	26	4限	個人発表準備①	5限	千種学②	卒業考査	
2	2	4限	個人発表準備②	5限	個人発表準備①	「インプロ」とは、即興劇の手法を用いた表現力の育成法であり、本校では導入して6年になる。	
	9	4限	個人発表準備③	5限	個人発表準備②		
	16	4限	学年内個人発表会 I	5限	学年内個人発表会 I		
	23	4限	学年内個人発表会 II	5限	学年内個人発表会 II		

「総合的な学習の時間」は学校の実情に応じて工夫をしているが、今後は「千種学」に関する実践を充実させて、小中高の統一テーマとして発展させることが強く望まれている。

## 9 千種町学校園連携授業の記録

教 務 部

1. 高校教員出前授業					
交流先	対象学年	教員名	教科	実施時期	内容
幼稚園	年少・年長	第2学年団		10月に3回	ふれあい育児体験
小学校	5, 6年	松井・デービッド・原田	英語	7月中旬	英語活動
	5, 6年	福永・上山	体育	10月	マット運動
	5, 6年	筏	理科	10月	おもしろ理科実験
中学校	3年	西	国語	1月	高校国語への導入
	1～3年	松井・デービッド	英語	月1回	実践的コミュニケーション能力の育成
	2年	戎原	情報	6月下旬	トライやるウィークのまとめ学習
	3年	照本	数学	3月2日	高校数学へのステップ
	1年	筏	理科	10月10日	アユの生態・解剖
	1～3年	福永・上山	体育	7月・11月	剣道・マット運動
	1～3年	八十川	社会	11月中旬	交流授業
2. 高校への出前授業					
校種	教員名	対象学年・コース	教科	実施時期	内容
小学校	山本 隆之	1年全	LHR	10月	人権
	柳田 敬史	1年全	現代社会	11月	
中学校	菊川	1年	数学 I	6月末	TT(二次方程式)
	谷尻	2年	日本史B	11月中旬	交流授業
	森本	1, 2年選	美術 I・II	11月(水曜)	TT
	原田	1年ア	国語総合A	1月上旬	TT
	西澤	2, 3年ア	アクティブ(外)	11月下旬 2月中旬	ゴルフハーフ実習 スキー検定
	高下	3年チ	英語 II	7月中旬	大学入試対策

この表は、千種町内の幼小中高を含めた「連携授業」の全体像を示している。他の市町では考えられない教育実践がここにはあり、千種町が「連携・一貫教育の総本山」と呼ばれている理由も正にこの点にあるのである。各授業の詳細は、連携委員会編集の別冊子に譲ることとする。

# 10 アクティブ授業（内）の記録

担当 戎原進一・上山麻美

月	2年(内)火曜 5・6時間目				3年(内)火曜 3・4時間目				1年(内)木曜 5・6時間目							
	日	講師	内容	備考	日	講師	内容	備考	日	講師	内容	備考				
4	15	○	写真①	ちくさ高原	15		地域貢献①	清掃活動								
	22	○	木工①	ハンペルマン	22	○	木工①	からくりおもちゃ								
5									1	○	太鼓①	文化祭発表練習				
									8	○	太鼓②	文化祭発表練習				
	13		地域貢献①	清掃活動	13	○	写真①	クリンソウ	22	○	太鼓③	文化祭発表練習				
	27	○	木工②	ハンペルマン	27	○	木工②	からくりおもちゃ	29	○	太鼓④	文化祭発表練習				
6					3	○	写真②	クリンソウ	5	○	太鼓⑤	文化祭発表練習				
	10	○	木工③	ハンペルマン	10	○	木工③	からくりおもちゃ	12	○	太鼓⑥	文化祭発表練習				
	17		地域貢献②	千種学	17		地域貢献②	千種学	13	○	太鼓⑦	リハーサル				
	24	○	木工④	ハンペルマン	24	○	木工④	登り人形	14	○	太鼓⑧	文化祭本番				
7	1	○	写真②	溪流	1		地域貢献③	清掃活動	<p>学校設定教科・科目「アクティブ」は、千種高校の特色ある授業のひとつであり、所謂座学とは異なる体験を積み重ねることによって、生徒は考え、学び、そして確かな成長の足跡を残してきた。表が示しているように、陶芸・木工・写真・和太鼓・地域貢献といった授業の中で、特別非常勤講師の先生方から直接その道の技や心を学び取る過程で、生徒は自信を深め、社会性を身に付けているのである。</p>							
9	2	○	太鼓①	演奏会準備	2		地域貢献④	街の駅開店準備								
	9	○	太鼓②	演奏会準備	9		地域貢献⑤	清掃活動								
10	16	○	太鼓③	演奏会準備	16	○	木工⑤	キーホルダー								
	7	○	太鼓④	演奏会準備	7	○	陶芸①	卒業作品								
11	14	○	太鼓⑤	演奏会準備	14	○	写真③	ベルピール自然公園								
	28	○	太鼓⑥	演奏会準備	28	○	陶芸②	卒業作品								
12					11	○	陶芸③	卒業作品								
	18	○	陶芸①	文化祭作品	18	○	木工⑥	パズル								
1	25		地域貢献③	キーホルダー配布	25		地域貢献⑥	キーホルダー配布								
	2	○	陶芸②	文化祭作品	2	○	木工⑦	パズル								
2	13	○	木工⑤	登り人形	13	○	木工⑧	ハノイの塔								
	20	○	木工⑥	登り人形	20		地域貢献	振り返り								
3	27	○	陶芸③	文化祭作品	○印		特別非常勤講師あり									
	3	○	写真③	ちくさ高原												
	10	○	陶芸④	文化祭作品												
	17		地域貢献④	エーガイヤちくさ												
4	24	○	写真④	ちくさ高原												



# 1.1 アクティブ授業（外）の記録

担当 福永順二郎・上山麻美

## <アクティブ（外）年間実施記録>

### (1) ゴルフコース実習

本校ではマナーと自分を律する気持ちを育てるため、また集中力を高めるために、公立学校では珍しいゴルフ授業を取り入れている。「千草カントリークラブ」のご協力と講師として村上登茂七さんのご指導のもと週2時間の基本練習をこなし、11月27日（木）にハーフ（9ホール）のコース実習を行いました。2、3年生の20名を5班に分けそれぞれリーダーのもとコースを回りました。半年間の総括と練習の成果を発揮し、スコアカードをつけながらラウンドしました。

実習も慣れてきたためラウンドの進行が早く、最後の班が終わるまでに2時間半で回ることが出来ました。ティーグラウンドやグリーン上でのマナーを守り、スコアも60（9ホールで）を切る生徒もでており、大変盛り上がりました。

### (2) スキー実習

体で物事を覚えることの大切さを理解させるために地元の特性を生かし、数年前からスキー実習を取り入れています。最初はボーゲンもままならぬ生徒達が時間を追う毎に上達していきます。1月に入って今年は雪も多くベストのコンディションで実習ができました。インストラクターの奥田慎一さんのご指導のもと、生徒は技術の向上とスキー検定合格を目指して一生懸命に滑り込みました。

2月19日（木）のスキー検定では惜しくも2級合格者は出なかったものの、3級、4級は見事に全員が合格を果たしました。

月	日	曜	講師	1年生	2・3年生
				3・4時間目	5・6時間目
4	10	木	○	ゴルフ準備	ゴルフ①
	17	木	○○	ゴルフ①	ゴルフ②
	24	木	○○	ゴルフ②	ゴルフ③
5	1	木	○○	太鼓①	ゴルフ④
	8	木	○○	太鼓②	ゴルフ⑤
	16	木	×	中間考査(15~20)	
	22	木	○○	太鼓③	ゴルフ⑥
	29	木	○○	太鼓④	ゴルフ⑦
6	5	木	○○	太鼓⑤	ゴルフ⑧
	12	木	○○	太鼓⑥	ゴルフ⑨
	19	木	○○	ゴルフ③	ゴルフ⑩
	26	木	○○	ゴルフ④	ゴルフ⑪
7	3	木	×	期末考査(3~8)	
	10	木		特編	
	17	木		特編(1年野外活動)	
	24	木		夏休み	
	31	木		夏休み	
9	4	木	○○	ゴルフ⑤	ゴルフ⑫
	11	木	○○	ゴルフ⑥	ゴルフ⑬
	18	木	○○	ゴルフ⑦	ゴルフ⑭
	25	木	○○	ゴルフ⑧	ゴルフ⑮
10	2	木	○○	ゴルフ⑨	ゴルフ⑯
	9	木	○○	ゴルフ⑩	ゴルフ⑰
	16	木	×	中間考査(14~17)	
	23	木	○○	ゴルフ⑪	ゴルフ⑱
11	30	木	○○	ゴルフ⑫	ゴルフ⑲
	6	木	○○	ゴルフ⑬	ゴルフ⑳
	13	木	○○	ゴルフ⑭	ゴルフ㉑
	20	木	○○	ゴルフ⑮	ゴルフ㉒
	27	木	○○	一般授業	ゴルフ㉓・㉔
12	4	木		ゴルフ	ゴルフ
	11	木		期末考査(9~12)	
	18	木		特編	
	25	木		冬休み	
1	1	木		冬休み	
	8	木		始業式	
	15	木	○○	スキー①	スキー①
	22	木	○○	スキー②	スキー②
	29	木	○○○	スキー③④⑤	スキー(講師なし)
2	30	金	○○○	スキー⑥⑦⑧	一般授業
	5	木	○○	スキー⑨	スキー③
	12	木	?	連携型入学者選抜前日	
	19	木	○○○	スキー	スキー④⑤⑥
3	26	木		卒業式予行	
	5	木		学年末考査	
	12	木		特編(学力検査)	
	19	木		特編	
	26	木		春休み	



## 12 ロングホームルーム活動(LHR)

生徒指導部

生徒の自主性や協調性、そして生き生きとした学級集団を形成する上でロングホームルーム(LHR)の果たす役割は非常に大きい。年間の主な学校行事を成功させるために、生徒たちはLHRの時間を用いてアイデアを出し合い、意見を形成し、そしてクラスとしての具体的な動き方を決定する。千種高校でも、学年ごとに創意工夫を凝らしながら「こころ豊かな人づくり」を目指して、学級活動を展開しているのである。

月	日	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
4	8 9 10 16 23	入学式 対面式 担任講話・クラス委員選出 進路調査 中間考査に向けて	始業式・入学式 対面式 クラス委員選出 生徒総会 文化祭に向けて	始業式・入学式 対面式 クラス委員選出 生徒総会 文化祭に向けて(台本)
5	7 14 21 28	全校集会 つつこみコミュニケーション 学年球技大会 人権学習①	全校集会 中間考査に向けて 文化祭に向けて 文化祭に向けて	全校集会 中間考査に向けて学習計画 文化祭に向けて(配役) 文化祭に向けて(道具作り)
6	4 11 18 25	文化祭準備(役割分担活動) 文化祭準備(ステージ・リハール) 文化祭を終えて 期末考査に向けて	文化祭準備(役割分担活動) 文化祭準備(ステージ・リハール) 人権学習① 期末考査に向けて	文化祭準備(役割分担活動) 文化祭準備(ステージ・リハール) 推薦入試願書・履歴書作り方 期末考査に向けて学習計画
7	9 16	水泳実習と大山登山について 大山登山	学年レクリエーション 夏休みに向けて 修学旅行事前学習①	自己PR練習・面接マナー指導 自己PR練習・面接マナー指導
9	3 10 17 24	人権学習② 教師による心にしみる良い話 体育大会の準備・役員改選 体育大会の練習	修学旅行事前学習② 修学旅行事前学習③ 体育大会の準備・役員改選 体育大会の練習	職場見学・就職面接について 指定校推薦・面接練習 体育祭準備・役員改選 体育大会の練習
10	1 8 15 29	学年集会(講話) 学年レクリエーション 中間考査に向けて 読書指導	学年集会 ふれあい文化祭に向けて① ふれあい文化祭に向けて② ふれあい文化祭に向けて③	学年集会 推薦入試・面接練習 2学期中間考査の学習計画 小論文指導
11	5 12 19 26	人権学習③ 進路ガイダンス 小高連携授業(道徳) 進路意識調査	ふれあい文化祭を終えて (修学旅行中) 修学旅行を終えて 人権学習②	一般入試書類作成について 受験報告書について 人権学習① センター試験・一般入試
12	3 17	期末試験に向けて 1年間を振りかえって	期末考査に向けて 修学旅行写真注文	期末試験に向けて学習計画 卒業文集作成
1	7 14 21 28	今年一年の抱負 いじめについて スキー実習について アクティブデイズ準備	今年の抱負 進路希望(再)調査 人権学習③ 職業適性検査	卒業文集作成 学年レクリエーション 人権学習②
2	4 18 25	アクティブデイズの反省 進路を考える 学年末考査に向けて	面接ビデオ 面接練習 学年末考査に向けて	
3	4 20	学年末考査 教科書購入・個人写真撮影	学年末考査 個人写真撮影	

# 1.3 高校生心のサポートシステム実践研究 – ネット利用問題改善運動 –

高校生心のサポートシステム推進委員会

## 「学校の特性を生かした情報モラル改善プログラムの開発及び実践」

### 1 はじめに

本校では25年度より生徒会が中心となって「情報モラル改善ルール」を作成するなど、生徒主体でネット利用等を含む生活改善を図るべく努力を重ねてきた。取り組みを継続して2年目となる26年度は、昨年度の成果を活かして保幼小中との連携体制の中でより一層の情報モラル教育充実を図った。また、地域に向けても取り組みの結果得られた成果を発信し、問題意識を共有することを目指した。具体的な取り組みについて、以下の通り報告する。

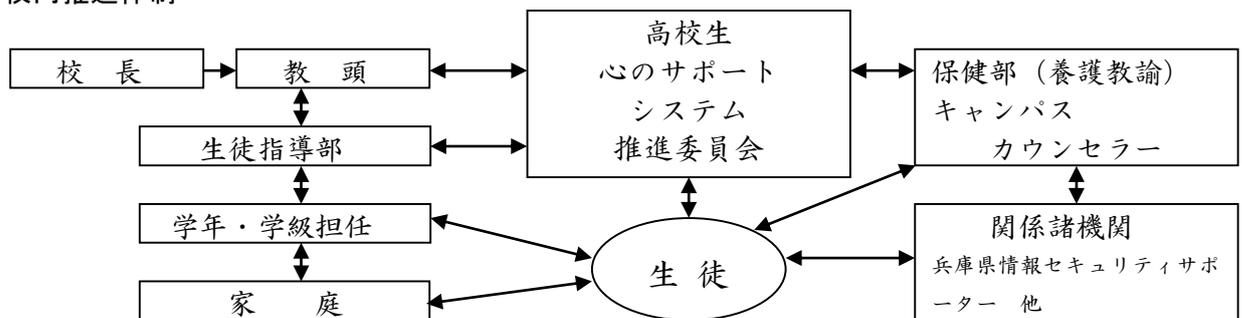
### 2 具体的実践方策

本校では、昨年度から専門家の意見を取り入れながら、生徒主導でネットを利用する際の規範意識を高めるという方針で活動してきた。この取り組みのなかで、情報モラルに関する問題は、本校のみに完結するのではなく、保護者、他校種の児童生徒、地域の人々とともに考えていく意識の醸成が必要であることが分かってきた。そこで地域の行事や保幼小中高の連携文化祭で情報モラルに関する啓発劇、12月のちくさクリスマスランドで高齢者を対象としたスマホ講座を行うなど、地域の人々と一体となって問題解決にあたっていくという姿勢で取り組みに臨んだ。

本校では以下の5点を柱として今回の研究課題に取り組んだ。

- (1) インターネットや携帯電話等の利用実態を中心とした生活実態調査
- (2) 保幼小中高連携行事での啓発劇と高齢者ネット被害防止運動
- (3) 生徒主体の実態調査分析・ネット利用ルールづくり・生活改善への呼びかけ
- (4) 全校生徒の家庭訪問（担任による生活実態把握・簡単なネット利用状況調査）
- (5) 生徒・教員対象 兵庫県警サイバー犯罪対策課講演会

### 3 校内推進体制



### 4 本年度の取組状況（4～3月）

- 4月 第1回生活実態調査（含情報機器等利用状況調査）
- 5月 全校生全戸家庭訪問（含スマホ・ケータイ使用状況調査）
- 6月 中高連携清掃ボランティア活動（3日：志引峠、町内商店街）
- 6月 第1回情報モラル実態調査
- 8月 小中高連携教職員研修会（5日：カウンセリング／情報モラル）
- 9月 兵庫県警サイバー犯罪対策課講演会（1日：全校生・教職員対象）
- 9月 第2回生活実態調査 第2回情報モラル実態調査
- 10月 「賢く使おう、ネットとケータイ」啓発ワークショップ実施（8日：1・3年生対象）
- 10月 「ちくさふれあいフェスタ」（26日：市民局行事）で「高齢者対象啓発活動」実施

- 1 1月 第6回千種町保幼小中高合同ふれあい文化祭で「ネットトラブル啓発劇」発表（2日）
- 1 2月 「心のサポートシステム」実践・研究発表会（16日：全校生・地域住民・県下高校対象）  
「情報スマートさんへの道」西播磨消費生活活動交流発表会で発表（18日）  
「ちくさのクリスマスランド」（21日：商店街行事）で「高齢者対象スマホ講座」実施
- 2月 「スマホサミット in ひょうご」（28日：県民会館）で取組先進事例発表・受賞  
第3回生活実態調査及び年間調査結果分析
- 3月 合格者説明会で「新入生対象情報モラル講座」実施（25日：生徒会長）

## 5 成果と課題

### (1) 成果

#### ア ネットトラブルについての啓発と保幼小中高連携・地域への発信

昨年度から継続して、生徒会主体によるネット利用実態調査、情報モラルルールの呼びかけを行った。さらに、校内の取り組みを地域の保幼小中との連携文化祭において、本校一年生がネットトラブル啓発劇を披露し、問題意識の共有に努めた。また、地域の高齢者に対して、スマホ講座を行い、ネット犯罪について把握していただくとともに、安全で便利な利用方法について知っていただいた。

#### イ 生徒会主体の取り組みによる改善点と反省点

生徒主導の取り組みで以下のような結果が見られた。

##### 【学校では携帯の電源を切っている】

昨年度 86% 今年度 98%

##### 【利用方法・料金について家族で相談した】

昨年度 24% 今年度 34%

##### 【ネットでの発言に気をつけた】

昨年度 98% 今年度 95%

【学校では携帯の電源を切っている】、【利用方法・料金について家族で相談した】については改善がみられた。【ネットでの発言に気をつけた】についてはあまり変化がみられなかったが、ほとんどの生徒が発言に対して慎重になっているという実態が分かった。



### (2) 課題

ア 保幼小中高の結びつきが強いという地域性を生かし、各教育機関との連携を密にとることでネットトラブルに関する問題意識を共有していきたい。今後の発展的な取り組みとして、地域の方々とともに、ネットトラブルに巻き込まれないために必要な情報を学ぶ機会を増やしていくことが求められている。そうした学びの場において、日々更新される情報を共有、交換していくことがネットの安全安心な利用につながるといえよう。

イ 昨今、どの学校においてもネットでの発言における誤解や悪意にもとづくトラブルが相次いでいる。こうしたトラブルを未然に防ぐために、ネット上での表現行為において、配慮すべき点について、生徒が主体となって考えていくことが不可欠である。その一方で、ネット上の発言に伴う法的責任などに関する知識については、これまでどおり、専門家の助言を積極的に受け入れ、活用していく必要がある。

## 6 来年度への展望

- (1) 生徒会による新入生対象「情報モラル説明会」。
- (2) ネット生活の改善方法を学んだ生徒たちによる、高齢者対象の「スマホ利用講座」。
- (3) 高校生による、保育園児、幼稚園児、小中学生への「ネットトラブル啓発活動」。



## 1.4 原生林ツアー・サブリーダー参加の記録

生徒会担当 西佑一郎・筏泰介・田中孝英・坂根大樹

8月3日(日)、本校の生徒会役員2年生6名が「日本熊森協会」主催の「原生林ツアー」(ちくさ高原の奥、岡山・鳥取県境の若杉原生林)に自然環境保護のサブリーダーとして参加しました。阪神間から今日のツアーに参加されたのは、小学3年生から80代の方までの幅広い年齢層約50名でした。本校の生徒は各グループ(6班)のサブリーダーを務めました。当日は台風の余波によってかなり雨が降っており、まさに水源地をじかに観察する絶好の機会ともなりました。

生徒会として参加した目的は、都会の皆さんに兵庫県や岡山県奥地の素晴らしさを伝えること、各班のサブリーダーとしてツアーの成功に尽力する責任感を養うこと、私たちが暮らしている千種町周辺の素晴らしい自然環境について学び、その保全に努めようとする心を育むこと、の3点でした。

江戸時代の炭焼き窯跡では、千種高校生が「たたら製鉄」の歴史や千種中学校時代に学んだことについて発表する機会を与えられました。緊張しながらも、7月27日(日)の事前学習で準備をしていた説明をして、参加された方々の学習に資することができました。今回の経験を糧として、生徒会役員には良きリーダーシップを発揮してもらいたいと思います。また、来年度以降もこの原生林ツアーを後輩に引き継いでもらい、千種高校生が地元の環境保全活動の一翼を担っていてくれることを願っています。以下、写真で当日の様子をお伝えします。

### (1) 事前研修会の様子(平成27年7月27日)



### (2) 「原生林ツアー」当日の様子(平成27年8月3日)



# 15 第40回千種高校文化祭 生徒会担当：西佑一郎・筏泰介・田中孝英・坂根大樹

今年度スローガン 「<sup>な い お ま し ん</sup>大夢磨心～一瞬の舞台永遠の思い出に～」

(1) 日程：平成26年6月14日(土) [午後は、第6回中高連携文化祭]

9:00～ 9:10	集合・点呼	13:10～13:20	午後オープニング
9:10～ 9:20	開会式・セレモニー	13:20～13:50	中高連携ステージ
9:30～ 9:35	1年アクティブ太鼓	14:00～14:20	2-1クラスステージ
9:40～10:00	選択音楽発表	14:30～14:50	3-1クラスステージ
10:00～10:10	有志発表	14:50～15:10	中高連携ステージ
10:20～10:50	軽音楽ステージ	15:10～15:15	クロージング
11:00～11:20	1-1クラスステージ	15:15～15:25	閉会式・表彰
11:20～13:00	昼休み(模擬店・展示)	15:30～	片付け・終了後SHR

(2) 内容：

- ①ステージ 生徒会「オープニングダンス」 1年アクティブ「太鼓演奏」  
 選択音楽  
 1年生「キセキ(合唱)」・2年生「恋するフォーチュンクッキー(ダンス)」  
 有志「ダンス(3年生)2組・ダンス(3年生・2年生合同)」  
 軽音楽「バンド演奏」 中高「吹奏楽演奏」「校歌交換」  
 1-1クラスステージ「1年1組金八先生」  
 2-1クラスステージ「Little Red Riding Hood ～夢の中のSHOWだ～」  
 3-1クラスステージ「congraduation!!」
- ②模擬店 PTA(バザー・カレー) 商工会連合会(焼き鳥・アイス)  
 野球部保護者会(かき氷・ポップコーン・ドーナツ・ジュース)  
 英語科地域連携(アメリカンホットドッグ) ボランティア部(クッキー)  
 生徒会(フランクフルト) パソコン部(オリジナルトートバック販売)  
 茶華道部(お茶会)
- ③展 示 アクティブ(写真・陶芸・木工)・選択美術(デッサン・絵巻物)  
 茶華道部(生け花)

本年度も全学年が趣向を凝らしたクラスステージを作り上げ、全体を盛り上げることとなりました。PTA・千種高校を支援する会・千種町商店街連合会には例年に引き続いて様々な模擬店を出していただき、たくさんの方々に応援をしていただきました。お陰さまで、千種が一つになって素晴らしい文化祭を開催することができました。ありがとうございました。



# 16 平成26年度第40回千種高校体育大会

今年度スローガン：「DO THE BEST!!」

体育科 上山 麻美

1 期 日：平成26年9月30日（火）

2 内 容（プログラム）：

午前の部	午後の部（中高合同）
1 入場行進	PTA会長挨拶
2 開会式	16 クラブ行進
3 ラジオ体操	17 中学校団体演技男子（組体操）
4 男女100m予選	18 中学校団体演技女子（ダンス）
5 男女200m予選	19 高校団体演技女子（ソーラン）
6 100人百足競争	20 高校団体演技男子（空手演舞）
7 障害物競走	21 中高選抜女子4×100mリレー
8 男女100m決勝	22 中高選抜男子4×200mリレー
9 男女200m決勝	23 フォークダンス
10 PTA競技	24 閉会式
11 綱引き	
12 大縄跳び	
13 高校女子4×100mリレー	
14 高校男子4×200mリレー	
15 仮装大賞	



少人数ながら一人一人が一生懸命に取り組み、とても力のある立派な体育大会となりました。地域の方々にも多数ご観覧いただき、大変にぎわいました。また、準備の段階からクラス単位で放課後遅くまで残り、百足競争や大縄跳びの特訓、クラス旗や担任の先生への仮装などを通してクラスの団結が一層深まったように感じます。



また、午後からは第6回の中高連携体育大会となり、中学生と高校生が交流を深めました。お互いの演技を披露したり、中高対抗選抜リレーでは応援する生徒も走る生徒も全力を尽くし、白熱したものとなりました。最後は、恒例のフォークダンスでまとまりのある姿を見せてくれました。来年度も更に進化したものになればと願っています。

## 17 第6回千種中高連携マラソン大会

体 育 科

1 目的： 持久走の持つ特性を理解し、健康的な体力作りを目指して、仲間と支えあい完走する体験をするとともに、たくましい精神力を養い達成感を味わう。

目 標： 全員完走を目指す。

2 期 日： 平成27年2月5日（木）

3 大会日程： 10：10 開会式 10：50 スタート  
10：20 ウォーミングアップ 11：50 ゴール  
10：45 スタート地点に集合 12：00 閉会式

4 走行距離： 中学 男子5キロ・女子3キロ 高校 男子8キロ・女子5キロ

5 参加者： 中学1・2年 男子26名（1年12名・2年22名）  
女子36名（1年18名・2年10名）  
高校1・2年 男子40名（1年21名・2年20名）  
女子25名（1年16名・2年12名）  
男子66名 女子61名 合計127人

<大会記録> 高校生男子8キロ 1位 西垣 仁詞（2年） 31分11秒  
2位 小河 健翔（2年） 32分56秒  
3位 田中 喜也（2年） 33分15秒

高校生女子5キロ 1位 齋明寺 優奈（1年） 20分53秒  
2位 春名 志保（2年） 22分23秒  
3位 鳥居 歩華（2年） 23分20秒



3学期からマラソン大会に向けて中学生も高校生も持久走に取り組みます。自己記録更新や完走を目標に懸命に走りました。6回目ともなると地域の皆様も楽しみにして下さっている様子で、今年も小学生や地域の方々が熱い声援を送って下さりました。「応援のおかげで、苦しくても頑張れます。」と練習の時から大きな励みとなっていました。今年も高校生女子の部で、新記録も出ました。全員が力を振り絞って力走する姿が見られ、達成感に満ちた表情で大会を終えることが出来ました。

地域の皆様、盛大なるご声援、本当にありがとうございました。

## 18 生徒会主催「百人一首大会」

生徒会担当 西佑一郎・筏泰介・田中孝英・坂根大樹

毎年恒例となっている生徒会主催の校内百人一首大会が3月6日（金）3・4限に本校柔道場（格技場2階）で盛大に行われました。今年も昨年に引き続き4人1組でグループとなり、向かい側の人と1対1で対戦する方式を採用しました。読み手は本校の国語科教員3名と原田教頭にお願しました。上の句が詠まれる度に会場は静まり返り、下の句が詠まれると歓びの声や悔しがる声が一斉に沸き起こり、楽しくも白熱した戦いとなりました。

1回戦の勝者同士、敗者同士でそれぞれ2回戦を行い、約2時間の戦いは幕を閉じました。今年も1年生の健闘が目を見せました。

学年の枠を越えて、一緒に古来よりある日本の伝統文化に触れるこの機会を今後とも大事にし、来年はさらに白熱した戦いが行われることを期待しています。

### 成績

勝者グループ 1位 藤原 杏奈（1年）  
2位 岸本 莉奈（1年）  
3位 森脇 大地（2年）  
4位 井口 裕貴（1年）  
5位 井戸 卓（2年）  
6位 梅本 万輝（2年）

敗者グループ 1位 岸本 壮弘（1年）  
2位 上山 直人（1年）



## 19 中高連携生徒会執行部ミーティング

生徒会担当 西佑一郎・筏泰介・田中孝英・坂根大樹

1 日時：平成27年3月23日（月）13:00～14:00

2 場所：千種中学校 会議室

3 司会：高校副会長 記録：高校書記

4 内容：

- ① 高校生徒会長挨拶
- ② 自己紹介
- ③ 意見交換 『今年度の取り組みと来年度への課題』

### 高校での取り組みについて

文化祭

球技大会（男子：サッカー，女子：ソフトバレー）

妙見夏祭り準備 百人一首大会（1，2年）

西播磨地域夢会議 生徒会新聞の発行

### 中学校での取り組みについて

ベルマーク，古切手，エコキャップ集め

早寝早起き朝ご飯運動 うがい手洗い体操

おすすめの本紹介 運動会は縦割りに

文化祭は全校合唱 千種学

### 中高合同の取り組みについて

美化活動 中高でもっと交流しながら

作業したい

文化祭 高校生の劇が見られてとても

楽しかった

体育大会 中学vs高校の競技を増やしたい

ふれあい文化祭 いろいろな年代の人が楽しめた

部活動体験 部活によってはあまり来てもらえないことがあるので，二つくらい体験してもらいたい

マラソン大会 開始前，終了後のざわつきを抑える

### 来年度の取り組みについて

- ・文化祭は午前から中学生に来てほしい  
中学生の出し物が見たい
- ・体育大会で中高の交流がある競技を増やしたい
- ・美化活動は中高混合のグループで作業したい
- ・マラソン大会で開始前，終了後の行動に気をつける

今年度も、生徒会活動の締めくくりとして中高合同の生徒会執行部ミーティングを開催した。平成22年度に兵庫県下初の「連携型中高一貫教育校」としての歩みを始めた折り、教員同士では「連携実行委員会」や「合同職員会議」を行って、連携行事や連携授業等の在り方について議論をする場があったものの、生徒同士が1年間の諸活動を共に振り返って次年度への夢を語り合う場が必要であるということでこの取り組みが始まった。これは、他町では中々見られない取り組みであり、中学校・高等学校それぞれの生徒会活動の先頭に立つ生徒たちが、異年齢集団という枠を乗り越えて意見を出し合い、次年度の教育活動への提案を行うという試みであり、中高生の成長を促すという意味においても非常に貴重な機会となっているのである。



## 20 40回生進路状況報告

進路指導部長 照本 和生

### 1 本年度の取り組みについて

32名の卒業生の内、進学者は17名(53%)、就職者は15名(47%)でした。進学者のうち、大学進学者は5名(18%)、短大進学者は1名(4%)、専門学校進学者は11名(39%)でした。例年に比べると、大学・短大への進学者数が若干減少しましたが、専門学校進学者や就職者は例年と同様でした。大学、短大進学者が6名と数値的には少ないですが、大学進学者においては、一般前期入試で滋賀大学に合格し、6年ぶりに国立大学合格者が出ました。私立大学においても、立命館大学や甲南大学など、関西の有名難関私立大学にも合格しています。また看護や医療系の進学者が多いのも今年の特徴でした。進学生徒は推薦入試や一般入試に向け、教科の補習や小論文、面接練習に一生懸命取り組み、栄光を掴み取ることができました。就職については、15名のうち、公務員が4名で、兵庫県警が1名、西はりま消防組合が1名と狭き門を突破してくれました。自衛隊も2名合格するなど素晴らしい結果を残してくれました。就職者は夏休みには、毎日登校し、就職問題の補習や自学自習で実力を養いました。履歴書作りや面接練習をする中で、徐々に就職に対する意識が高まり、多種多様な職種に就職することができました。



### 2 就職動向および進学の問題点について（兵庫県進路指導研究会より）

- (1) 兵庫県内の就職状況はおおむね好転している。産業別、職業別、規模別のほとんどすべての分類において上昇している。今年度の求人数は8676件、就職希望者数は5683人であり、求人倍率は1.53倍と昨年の1.28倍に比べて、飛躍的に上昇した。就職内定者数は5310人、未内定者は373人で就職率は93.4%であった。西播磨地域においても、求人数は2013件と昨年度より24%上昇している。実に県内の4分の1の件数を占めており、求人倍率は.35倍と順調であった。今年度の傾向として、製造業・建設業・介護職の求人は増加した。今まで求人が無かった企業からも求人があった。一方、販売職、事務職は減少している。男子の求人数は増加しているが、女子の求人数は増加しておらず、依然厳しい状況が続いている。希望職種の求人がないことから進学へ流れる生徒もいた。
- (2) 専門学校のAO入試について、エントリー前のオープンキャンパスや学校説明会などで内定を出す学校も増加している。エントリーが即合格につながり、簡単に合格が決まってしまうことで、入学後の勉強についていけるか懸念される。また、特典を上乗せして生徒を呼び込むなど、本来の入試携帯と違うものになっている学校もあった。

### 3. 進路状況について

(1) 大学		(○は合格のみ)	
学校名	学部・学科	入試区分	合格数
滋賀大学 (国立)	経済学部会計情報コース	一般入試 (前期)	1
立命館大学	経営学部経営学科	センター利用	①
甲南大学	経営学部経営学科	一般入試 (前期)	①
		センター利用	①
大阪経済大学	経営学部経営学科	一般推薦 (併願)	①
大阪商業大学	経済学部経済学科	一般推薦 (併願)	1
		指定校推薦 (専願)	1
神戸常盤大学	保健科学部医療検査学科	一般推薦 (併願)	1
岡山理科大学	理学部臨床生命科学科	一般推薦 (併願)	①
兵庫大学	生涯福祉学部こども福祉学科	指定校推薦 (専願)	1
大学進学者数			5
(2) 短期大学		(○は合格のみ)	
学校名	学部・学科	入試区分	合格数
新見公立短期大学 (公立)	幼児教育学科	一般推薦 (専願)	1
神戸女子短期大学	幼児教育学科	一般推薦 (併願)	①
兵庫大学短期大学部	保育科第一部学科	一般推薦 (併願)	①
短期大学進学者数			1
(3) 専門学校		(○は合格のみ)	
学校名	学部・学科	入試区分	合格数
姫路市医師会看護専門学校	看護学科	一般推薦 (専願)	1
相生市看護専門学校	看護学科	一般推薦 (併願)	1, ①
順正看護福祉専門学校	看護学科	一般推薦 (併願)	①
姫路経営医療専門学校	医療秘書学科	特待生 (専願)	1
関西健康科学専門学校	柔道整復学科	AO (専願)	1
日本調理製菓専門学校 (みかしほ学園)	栄養士科	AO (専願)	1
	調理師科	一般推薦 (併願)	1
姫路情報システム専門学校	ITスペシャルコース	指定校推薦 (専願)	1
	SEプログラマーコース	特別推薦 (専願)	1
		一般推薦 (併願)	1
兵庫県立但馬技術大学校	自動車工学科	一般推薦 (併願)	1
兵庫県立ものづくり大学校	金属塗装コース	一般入試	1
専門学校進学者数			11
(4) 就職			
企業名	仕事内容	勤務地	合格数
兵庫県警	警察官	兵庫県	1
西はりま消防組合	消防官	西播磨	1
自衛隊	航空自衛隊 (自衛官候補生)	山口県防府市	1
	陸上自衛隊 (自衛官候補生)	姫路市	1
山陽特殊製鋼グループ山特工業株式会社	製造業	姫路市	2
阿比野建設株式会社	整備・管理業務	姫路市	1
播磨三相電機株式会社	製造業	宍粟市山崎町	2
株式会社ニチフレ千草	組立業	宍粟市千種町	1
医療法人社団翠輝会むつみ園	介護職	宍粟市一宮町	1
グリーン興産株式会社	森林事業	宍粟市一宮町	1
中島農園株式会社	造園業	伊丹市	1
自営業	自営		2
就職者数			15

千種高校卒業生の進路先は非常に幅が広い。他の大規模校と比べれば、例えば学校評価の尺度としてよく用いられる「大学進学者数」及び「公務員合格者数」等は、確かに少ないであろう。然し、母集団である卒業者数が32名であるということを考えると、進学者であれ、就職者であれ、「一人ひとりを大事にする進路指導」が確かに生きており、これが私たちの誇りなのである。

## 2 1 校内外進路ガイダンス・進路検討会

進路指導部長 照本 和生

### (1) 校内進路ガイダンスについて

今年度は校内進路ガイダンスをトータル4回行いました。生徒が希望する進路が様々でしたが、大学・短大、専門学校、就職とバランスよく数多くの講師の先生方に来ていただきました。生徒にとって大変有意義な時間を過ごすことができました。



#### ① 3学年進路ガイダンス

ア 日時：6月2日（月）5、6限目

イ 対象生徒：3年生

ウ 企画運営会社：株式会社さんぼう

エ 参加校：・大学3校（兵庫県立大学・兵庫大学・大阪商業大学）

・短大3校（新見公立短期大学・兵庫大学短期大学部・川崎医療短期大学）

・専門学校16校（相生市看護専門学校・津山中央看護専門学校など）

・さんぼう専任講師3人

オ 内容：大学・短大、専門学校、看護・医療、公務員、就職の5分野に別れて行った。

・大学・短大：小論文対策講座・学校別説明 ・専門学校：学校別説明

・公務員：受験対策 ・就職：履歴書の書き方・全員面接指導

#### ② 全学年進路ガイダンス

ア 日時：7月9日（水）3、4限目

イ 対象生徒：全学年生徒

ウ 企画運営会社：株式会社さんぼう

エ 参加校：大学1校、短大3校、専門学校10校  
さんぼう専任講師4人

オ 内容：職業説明（1, 2年生徒）

・大学・短大：小論文指導（3年大学志望者）

・専門学校：志望理由書の書き方指導（3年専門学校志望者）

・看護・医療：志望理由書指導・面接指導（3年看護・医療系志望者）

・就職：模擬面接指導（3年就職希望者）



#### ③ 3学年面接マナー講習会

ア 日時：7月30日（火）2、3限目

イ 対象生徒：3年生（就職希望者）

ウ 企画運営会社：株式会社キッズ・コーポレーション

エ 内容：志望理由の考え方（イメージマップ）と  
全員面接指導



#### ④ 1・2学年進路ガイダンス

ア 日時：3月5日（木）3、4限目

イ 対象生徒：1, 2学年生徒

ウ 企画運営会社：株式会社ライセンスアカデミー

エ 参加校：大学1校、短大1校、専門学校8校

オ 内容：・大学・短大：分野説明・小論文対策

・専門学校：模擬体験

・就職：面接指導



## (2) 校外進路ガイダンスについて

今年度は校外進路ガイダンスを3回行いました。普段は進学に関する最新の情報は中々生徒自身で得ることができないため、チャレンジコースの生徒を中心に多数の生徒が参加しました。難関私大対策や看護医療系対策も実施され、有意義な時間を過ごすことができました。

第1回 日時：7月16日（水）  
場所：宍粟市山崎町ホテルサフラン  
参加人数：20名（2年生10名 3年生10名）  
主催：進路情報センター昭栄広報

第2回 日時：12月16日（火）  
場所：姫路市じばさんビル  
参加人数：7名（1年生チャレンジコース7名）  
主催：株式会社ライセンスアカデミー

第3回 日時：2月16日（月）  
場所：姫路市じばさんビル  
参加人数：9名（1年生5名 2年生4名）  
主催：株式会社ライセンスアカデミー

第4回 日時：3月12日（木）  
場所：姫路市じばさんビル  
参加人数：15名（1年生8名 2年生7名）  
主催：株式会社さんぼう

## (3) 進路検討会（センター試験後検討会）について

昨年度に続き、センター試験後の進路検討会を1月23日（金）の放課後に実施しました。受験者の自己採点に基づくデータを受験大手の業者に送り、その結果を全国データネットを活用して、各生徒の受験先を検討し、更に合格可能性が高い国立大学はないかと、パソコンの検索結果をにらみながら議論を進めました。パソコン上での2次試験データは、10月に行われた記述模試のデータが使用されるため、その時点からの伸びも十分に考慮して行いました。生徒の特性を十分に理解して、勝てる進路先を提示することが最も大切なことだと強く実感しました。

- ①日 時： 1月23日（金） 17：40～
- ②場 所： 応接室
- ③参加者： 進路指導部長、3学年団、各学年進路担当者  
5教科補習担当者（国・数・社・理・英）
- ④内 容： a. センター試験自己採点集計結果と志望校について  
b. FINE SYSTEM（Compass）の利用方法  
c. 参考資料（過去卒業生データ）  
d. 意見交換・・・学年
- ⑤準備物： FINE SYSTEM インストール済みパソコン（数台）

### ⑥今後の展望：

平成24年度から3年間にわたって「進路検討会」を続けてきましたが、今年度初めて検索及び参加者による検討結果を実際の出願に生かすことが出来たということで、非常に大きな意義があったと考えています。今後は、秋以降3回ぐらいは実施して教員の叡智を集め、切磋琢磨して「進路指導の眼」を研ぎ澄ます工夫と努力が肝要であると思います。

## 22 平成26年度実施模擬試験の記録

進路指導部長 照本 和生

今年度は例年に比べてより多く模擬試験を行いました。定期考査はある程度点数が取ることのできる生徒でも、いざ模試となるとなかなか点数が取れないのが現状ですが、多くの実践形式の模擬試験を受験することで、自分の弱点箇所や全国における自分の位置を把握することができました。来年度もただ受験するのではなく、その後に繋げていきたいと考えています。

### (1) 1年

回	実施日	名称 (実施団体)	受験生徒数
1	7月12日 (土)	総合学力テスト7月 (ベネッセ)	7名
2	11月8日 (土)	総合学力テスト11月 (ベネッセ)	7名
3	1月18日 (日)	看護・医療系模擬試験 (東京アカデミー)	2名
4	1月25日 (日)	総合学力記述模試1月 (ベネッセ)	7名

### (2) 2年

回	実施日	名称 (実施団体)	受験生徒数
1	5月12日 (月)	第2回公務員模試 (東京アカデミー)	1名
2	6月8日 (日)	第1回看護・医療系模擬試験 (さんぼう)	4名
3	6月8日 (日)	第3回公務員模試 (東京アカデミー)	3名
4	7月12日 (土)	総合学力テスト7月 (ベネッセ)	12名
5	7月13日 (日)	第4回公務員模試 (東京アカデミー)	3名
6	9月27日 (土)	第2回看護・医療系模擬試験 (さんぼう)	4名
7	10月25日 (土)	看護・医療系模擬試験 (東京アカデミー)	2名
8	11月8日 (土)	総合学力テスト11月 (ベネッセ)	12名
9	1月18日 (日)	看護・医療系模擬試験 (東京アカデミー)	2名
10	1月25日 (日)	総合学力記述模試1月 (ベネッセ)	9名
11	2月15日 (日)	センター試験早期対策模試2月 (ベネッセ)	12名

### (3) 3年

回	実施日	名称 (実施団体)	受験生徒数
1	4月21日 (月)	総合学力記述模試4月 (ベネッセ)	9名
2	4月23日 (水)	第1回公務員模試 (東京アカデミー)	6名
3	5月12日 (月)	第2回公務員模試 (東京アカデミー)	6名
4	5月24日 (土)	看護・医療系模擬試験 (東京アカデミー)	5名
5	6月7日 (土)	総合学力マーク模試6月 (ベネッセ)	9名
6	6月8日 (日)	第1回看護・医療系模擬試験 (さんぼう)	5名
7	6月8日 (日)	第3回公務員模試 (東京アカデミー)	6名
8	7月12日 (土)	総合学力記述模試7月 (ベネッセ)	9名
9	7月13日 (日)	第4回公務員模試 (東京アカデミー)	6名
10	7月19日 (土)	第1回小論文模擬試験 (郁朋社 論作文研究会)	3名
11	9月20日 (土)	第1回ベネッセ・駿台マーク模試 (ベネッセ)	7名
12	9月27日 (土)	第2回看護・医療系模擬試験 (さんぼう)	4名
13	9月27日 (土)	第2回小論文模擬試験 (郁朋社 論作文研究会)	3名
14	10月18日 (土)	第2回ベネッセ・駿台記述模試 (ベネッセ)	5名
15	11月8日 (土)	第3回ベネッセ・駿台マーク模試 (ベネッセ)	5名

## 23 平成26年度実施の健康教育

保健部（養護担当） 八田 直子

### (1) 生徒対象救命救急講習会

日時：平成26年7月10日（水） 9：35～12：25

場所：千種高校体育館

対象：2学年 37名

講師：西はりま消防組合宍粟消防署千種出張所 消防隊員

内容：普通救命の講習を受け、心肺蘇生、AED、止血の実習を3時間行い、修了証をもらう。また、千種町の救急の現状や心肺蘇生の意義等についての講義も受けた。



### (2) 職員研修会

#### 小中高教員救命救急講習会

日時：平成26年6月19日（木） 16：00～17：30

場所：千種中学校玄関内ホール

講師：西はりま消防組合宍粟消防署千種出張所 消防隊員

内容：小中高合同の講習会を実施し、AEDを用いた心肺蘇生法の講義や実技講習を受けた。ダミーを使って心肺蘇生法の流れを理解、確認した。



#### 校内教育相談研修会

演題：「インクルーシブ教育の在り方」

日時：7月11日（金） 11：00～14：00

場所：千種高校会議室

講師：西はりま特別支援学校 教諭 元持 典子 先生



演題：「聴く」ことのむずかしさ

日時：7月28日（月） 13：00～14：00

場所：千種高校会議室

講師：本校カウンセラー 田邊 裕樹 先生



#### 幼小中高合同講演会

演題：「カウンセリングマインドの光と影」

日時：8月5日（火） 13：30～16：00

場所：センターちくさ 4F大ホール

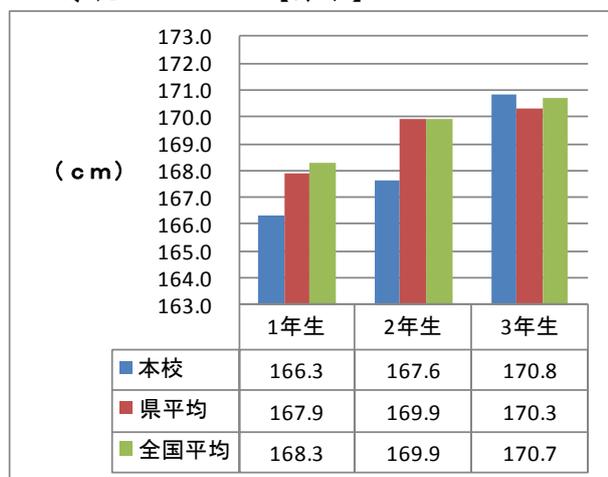
講師：千種中学校カウンセラー 浅尾 祐亮 先生

## 24 平成26年度身体測定の結果

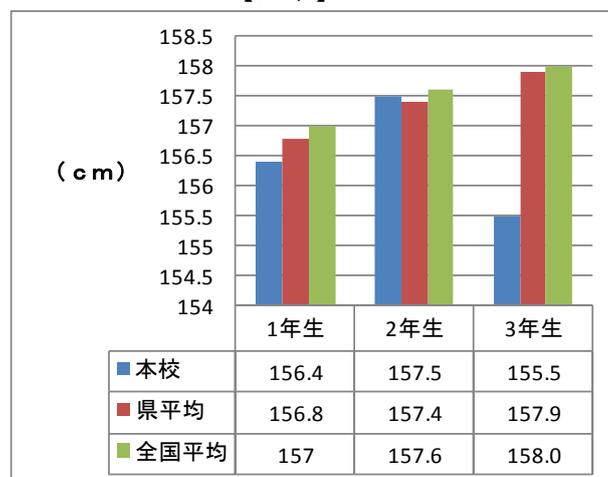
保健部

実施日：平成26年4月9日（水）

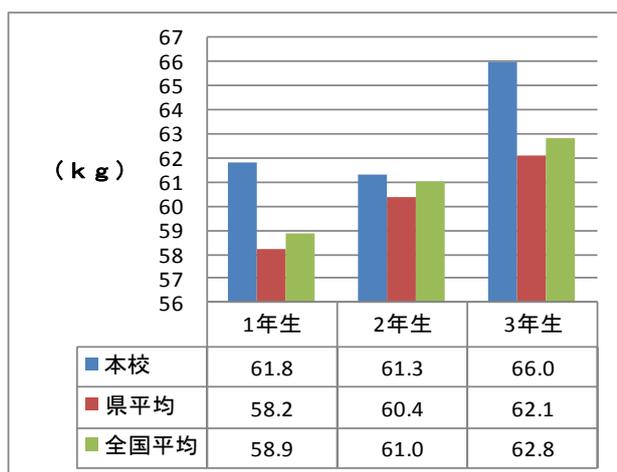
### 1. 身長 【男子】



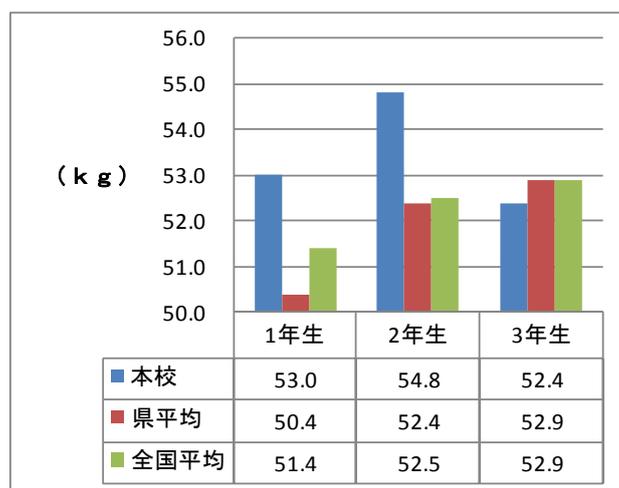
### 【女子】



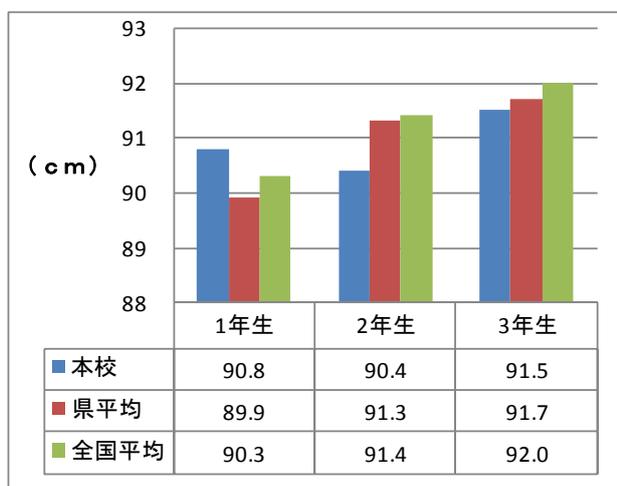
### 2. 体重 【男子】



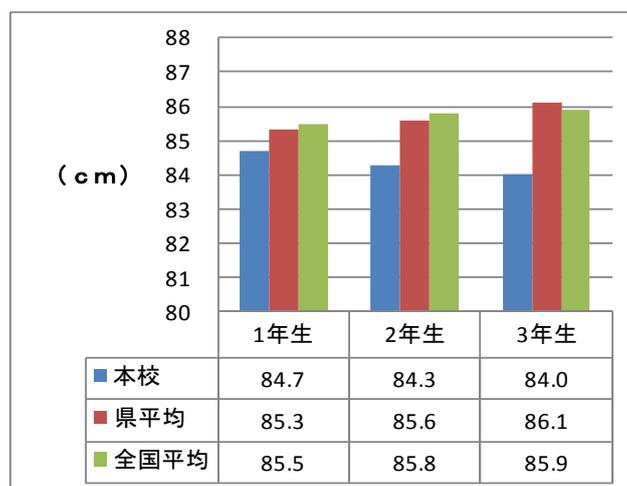
### 【女子】



### 3. 座高 【男子】



### 【女子】



## 25 教育相談活動（キャンパスカウンセリング）

保健部・生徒指導部教育相談係

### (1) 構成委員

キャンパスカウンセラー 田邊 裕樹 先生〔臨床心理士〕

### (2) 相談者の選別

- ・ 全校生徒に「キャンパスカウンセリングのお知らせ」を配布し、本人または、保護者より希望があった者
- ・ 日々の教育相談活動の中で必要と思われる者
- ・ 担任より要請のあった者

### (3) 平成26年度実施状況

第1回	4月14日(月)	生徒 3名	第15回	9月29日(月)	生徒 2名
第2回	4月28日(月)	生徒 3名	第16回	10月16日(月)	生徒 1名 保護者1
第3回	5月12日(月)	保護者1名	第17回	10月20日(月)	生徒 1名 保護者1
第4回	5月19日(月)	教員2名	第18回	10月27日(月)	生徒 2名
第5回	5月26日(月)	生徒 6名 保護者1名	第19回	11月16日(月)	生徒 2名
第6回	6月2日(月)	生徒 5名	第20回	11月17日(月)	生徒 2名
第7回	6月9日(月)	生徒 3名	第21回	12月1日(月)	生徒 2名
第8回	6月23日(月)	生徒 8名	第22回	12月15日(月)	生徒 1名 保護者1名
第9回	6月30日(月)	生徒 5名 保護者1名	第23回	1月19日(月)	生徒 2名
第10回	7月7日(月)	職員 1名	第24回	1月16日(月)	生徒 2名
第11回	7月14日(月)	生徒 6名 保護者1名	第25回	2月23日(月)	生徒 1名
第12回	7月28日(月)	教員14名	第26回	3月2日(月)	生徒 3名
第13回	9月8日(月)	生徒 1 保護者1	第27回	3月2日(月)	生徒 2名
第14回	9月20日(月)	生徒 3名	第28回	3月2日(月)	生徒 3名

※5月から7月までは1年生の体験カウンセリングも含む

### (4) 相談内容

友人関係、進路・学習、性格、異性・性、その他



## 26 平成26年度人権教育の概要

人権教育担当 安積 拓男

### 1 推進委員会の活動内容等

#### (1) 活動内容

月	回数	内 容
4	1	人権教育推進計画の立案
10・11	3	人権作文の選定

#### (2) 教職員研修会（校内）

月	種別	課題	内 容	講師名（所属等）	資料名等
6	イ	ウ	支援を要する生徒の指導について	元持典子先生（西はりま特別支援学校）	
12	イ	シ	心のサポートシステム実践・研究発表会	竹内和雄（兵庫県立大准教授）	
成果 生徒の問題点や可能性、ネットに頼らないより良いコミュニケーション能力開発方法についての事例の紹介、実践力向上に努めた。					

#### (3) 教職員研修会（校外）

月	名 称	場 所	参加者数
8	人権教育研究大会	赤穂市	1人
11	人権教育講演研修会	姫路市	1人
成果 人権文化を高め、教育内容を創造し、さまざまな人権問題を認識し、あらゆる差別を解消するよう努めた。			

### 2 各領域等における取組

#### (1) 各教科・科目

学年	教科	科目	課題	内 容
1年	家庭 公民	現代社会	イ ク	男女共同参画社会の具体化に向けた人権意識の高揚。 異文化理解と他民族共生に向けて。
2年	情報 地歴	日本史	シ カ	ブログやメールを通じたコミュニケーションにおける人権感覚の涵養。 身分制度・人権思想についての理解。
3年	理科 国語	生物	ア ア	環境問題と生命倫理。 戦争文学教材の読解による国際平和の尊重。

#### (2) 特別活動

##### ア ホームルーム活動

学年	月	時数	課題	内 容	講師名（所属等）	資料名等
1年	7 10	3	ア	命の大切さ、命のつながりに向き合おう 「孤立」から「つながり」、そして「支え合い」へ 人権文化の創造に向けて	千種小学校より	HUMAN RIGHTS 1～6
2年	7 1	3	ア	多文化共生社会への虹の架け橋 インターネットの向こう側 多様な働き方と生き方が選択できる社会に向けて		HUMAN RIGHTS 7～12
3年	7 1	2	ア	公正な採用選考に向けて 様々な差別について考える	（兵庫県男女協働参画推進委員） 波多野・靖之・カナエ	HUMAN RIGHTS 13～18

##### イ 生徒会活動

月	課題	内 容	講師名（所属等）	資料名等
12	シ	心のサポートシステム実践・研究発表会	竹内和雄	
1	ア	家島高校との学校間交流（2年アクティブ）	（兵庫県立大准教授）	

##### ウ 学校行事

月	課題	内 容	講師名（所属等）	資料名等
6	ア	中高連携美化活動		
6 9	ア	中高連携文化祭・体育大会	兵庫県教育委員	
1	ア	出前授業	玉岡かおる	聖地巡礼

#### (3) 総合的な学習の時間

月	課題	内 容	講師名（所属等）	資料名等
5	ア	マナー研修	成瀬恵子・川村さほ子	
4～12	ア	インプロ学習	長谷中りえ・國分宏美 （プレス and プレス）	
1	ア	一年生就業体験		

#### (4) その他（課外活動の状況等）

ボランティア部の町内独居老人への配食・地域ボランティアへの参加（①町内にある老人ホームでの太鼓演奏やダンス披露など②町内にある寺主催の野外活動の参加）・地域行事への積極的参加
---

### 3 教育上特に配慮を要する生徒に対する取組

個別の指導計画を作成し、必要に応じて教員と生徒、一対一のきめ細かい教科指導を行った。
--

### 4 本年度の成果と課題

今年度は、生徒の自主性と規範意識を高めていくことが出来た。情報教育では、生徒が主体となったルール・心のサポートなど内容の充実を図っていった。更に、地域の方々や子供たちとの交流・ふれあいを通して、社会性・地域性を養うよう努めた。また、このような取り組みが必要で、今後も考えていくことが課題である。
---

人権LHR「第3学年基本目標：様々な差別について考える」

出前授業「男女がイーブンな社会づくりを～ありのままに生きる～」

教諭 松井 利澄

- 1 講師紹介 波多野・靖之・カナエさん  
 兵庫県姫路市出身、たつの市在住。第5期兵庫県男女共同参画推進員として活動後、第16期兵庫県男女共同参画アドバイザー養成塾を修了。現在、地域で男女共同参画の啓発活動を行っている。
- 2 趣 旨  
 今日、男女共同参画という言葉をよく耳にするが、生徒たちはその意味合いを理解しているとは言えない。ジェンダーに関する様々な言葉を正しく理解し、「自分らしき」を尊重しながら生きることについて学びを深めることで、卒業を間近に控え、地元を離れて進学あるいは就職して社会に出て未来を担う生徒の成長の一助にしたい。また、同時にこの出前授業を通じて教員自身の研修の機会にもしたい。
- 3 日 時 平成27年1月21日(水)6限(14:10~15:00)
- 4 対 象 3年1組 32名
- 5 展 開

段階	講師の働きかけ	備考
導入	1 自己紹介 名前の由来 本名は波多野靖之(男性の名前)だが、女性の要素も入れたいという思いからカナエを加えた。	
展開	2 小学時代から抱き始めた「男らしき・女らしき」への疑問 (例) 男だから寒色系の服装 女だからスカート 中学時には男だからという理由で坊主にするということに疑問を覚えた。	
	3 発問 「男らしき・女らしきは生まれながらに備わっているのだろうか？」 (脳にインプットされているのか?) (例) 男の子だからダーク系の服を着る 女の子だからスカートをはく	生徒の反応 「社会の慣習によるもの」
	4 性転換手術の是非 体は男(女)でも、心は女(男)という人：人工的に一致させるのではなく、ありのままに生きることも大切。自分だけでなく、ありのままに他者を受け入れる心も大切。	性転換手術のメリット・デメリットを考えさせる。
認め	5 Q&Aタイム セクシャルマイノリティという言葉自体が世間の差別意識を助長している。そもそもジェンダーという言葉に囚われない生き方をしていくことがダイバーシティな世の中を作り出す。	

## 27 第1学年「皆生・大山野外活動」

第1学年担任 戎原 進一

### 1 実施目的：

- (1) 大山の雄大さや自然の素晴らしさに触れ、自然を大切にする意欲や態度を育てる。
- (2) 水泳や大山登山など、仲間と協力して困難を乗り越える達成感や喜びを味わい、望ましい人間関係を形成し、自主的、実践的な態度を育てる。

2 実施日時： 平成26年7月16日(水)～7月17日(木)

3 実施場所： 7月16日：鳥取県米子市 皆生温泉大浴場  
7月17日：鳥取県大山町 大山(1709m)

### 4 詳細：

1日目 7月16日(水)

- 8:40 学校出発
- 12:30 皆生温泉大浴場にて皆生ライフセービングクラブの指導による水泳実習
- 16:00 皆生温泉大浴場出発
- 17:30 宿舎「山香荘」到着 夕食・学習会・入浴
- 22:00 就寝

2日目 7月17日(木)

- 6:00 起床・朝食・出発準備
- 7:20 宿舎「山香荘」出発
- 8:10 大山登山開始
- 11:10 大山登頂
- 15:30 下山・学校へ向け出発
- 19:00 学校到着



1日目は、「皆生ライフセービングクラブ」の方々のご指導のもと、ライフセーバーが実際に行っているトレーニングと人命救助の方法を学びました。普段は体験することのできない海での活動に、全員が真剣に一生懸命取り組むことができました。

2日目は、現地ガイドさんの指導のもと、大山登山を行いました。苦しい思いをしながらも目標であった「全員登頂」を成し遂げ、さらに登山時は降っていた雨も漸く上がり、頂上の雲が消え去ると頂上から弓ヶ浜などの絶景を眼下に眺めることができました。今回の集団生活により全員が大きな達成感を味わうことができ、また仲間や教員との交流を図ることで、充実した学校生活を送る基礎を築くことができました。

## 28 第1学年「就業体験」(アクティブデイズ)

第1学年担任 戎原 進一

### 1 実施目的：

- (1) 就業体験を通じて、地元の産業を身近に感じさせるとともに、働くことの厳しさや喜びを知り、社会人としてのマナーを身につける。
- (2) スキー技能の習得及び向上を通じて、新たなことを学ぶ楽しさと目標に向かって努力する姿勢を養う。

2 実施日時： 平成27年1月29日(木)～1月30日(金)

3 実施場所： ちくさ高原スキー場(宍粟市千種町)

4 詳細：(両日とも同一日程)

8:25 学校出発

9:00 ちくさ高原スキー場にて開校式

9:10 スキー実習または就業体験開始

15:00 スキー実習または就業体験終了

15:30 ちくさ高原スキー場にて閉校式

16:10 学校到着



ちくさ高原スキー場にて就業体験及びスキー実習を行いました。就業体験では、リフト乗り場、レンタルショップ(個人・団体)、レストラン、宿泊施設で仕事をさせていただきました。最初は緊張をしていた生徒もお客様と接するうちに、笑顔で元気よく挨拶や応対ができるようになりました。またスキー実習では、インストラクターの方の丁寧な指導で、初めての生徒でもリフト乗りゲレンデを滑って降りることができました。2日間でしたが本校だからこそできる貴重な体験により、充実感・達成感そして大きな自信を手に入れてくれたと信じています。

## 29 第41回生修学旅行

第 2 学 年

1 日 時：平成26年11月10日（月）～11月14日（金） 4泊5日

2 参加生徒：第2学年 男子21名、女子16名 計37名

3 引率職員：原田教頭（団長）、福永（主任）、上山（担任）、坂根（副担任）、八田（養護）

4 行 程：

1日目≪11月10日（月）≫

15：45 学校発 18：45 関西国際空港着 20：45 関西国際空港発（UA178）

2日目≪11月11日（火）≫

ホテル到着後、仮眠休憩（3:00～10:00 まで）

昼食後、観光へ出発

ホテル・・・シュノーケリング体験・・・アンダーウォーターワールドにて自由行動

11：30

16：00

17：30 恋人岬で美しい夕日を背に記念撮影



3日目≪11月12日（水）≫

ホテル・・・リティディアンポイント・・・マイクロネシアモールでショッピングと昼食

9：00

10：50

12：15

ビーチ&カルチャーパーク・・・チャモロビレッジで手づくりの竹トンボをプレゼント、

14：30

18：30

空手、ソーラン節を披露



4日目≪11月13日（木）≫

ホテル・・・各種オプションツアー・・・ウォーターパークで自由行動ホテル

8：00 頃

夕食はナイトクルーズ

16：00



\*DFS等でショッピング

\*20：00～帰国準備、就寝

5日目≪11月14日（金）≫

4：30 ホテルより空港へ 5：00 グアムより空路帰国の途へ

10：10 数々の思い出を胸に関西国際空港へ到着



## 30 40回生3年間の取り組みについて

第3学年団

### 方針

- (1) 勉学 チャレンジ：センター試験に対応できる学力を身に付ける。  
ベーシック：商業科目を中心とした検定で資格を取得する。  
アクティブ：就職問題に対応できる基礎学力を身に付ける。
- (2) 生徒指導 基本的な生活習慣の確立を目標に問題行動、いじめゼロを目標とする。  
けじめをしっかりとつける。数年後、社会人になる為に今どうあるべきか考えさせる。
- (3) 学校行事 各行事を通じて達成感を全員で共感できるように、一致団結して取り組む。  
クラス全体で取り組み、クラス全体で感動を味わいたい。

### 具体的な取り組み

- (1) 勉学
  - ① 週3回の小テストを朝のSHRで実施（国・英・数）  
3年次からは一般常識の小テストも実施
  - ② 課題や提出物の提出期限厳守
  - ③ 週末課題・長期休みの課題の強化（チャレンジ）
  - ④ 放課後補習・個別補習による個々の学力向上（チャレンジ）
  - ⑤ 検定前補習（ベーシック）
  - ⑥ 様々な体験活動を通して感性を磨いた（アクティブ）
- (2) 生徒指導
  - ① 個々の生徒の理解を深める。
  - ② 元気な挨拶を徹底する（明るく大きな声で）
  - ③ 欠席・遅刻・早退ゼロを目標に健康管理に努めた（皆勤賞7名・精勤賞8名）
  - ④ イエローカードの発行ゼロを目標に服装指導の徹底を図った。
  - ⑤ 掃除を徹底して行わせた。
- (3) 行事
  - ① 修学旅行・・・多くの体験活動を通して達成感を感じることができた。仲間との絆も深まった。
  - ② 文化祭・・・全員が舞台に立ち、文化祭を大いに盛り上げた。
  - ③ 体育大会・・・団体競技で一致団結することの素晴らしさを知った。
  - ④ 水泳実習・大山登山・・・辛い道のりではあったが、全員で励まし合い、目標を達成することができた。
  - ⑤ マラソン大会・・・自分自身の限界に挑み、一生懸命取り組んだ。



“Where there's a will, there's a way.”

### 3 1 学校間交流の記録

担当 福永順二郎 上山麻美 坂根大樹

#### (1) 山と海の学校間交流（家島高校との交流）

今年度の「山と海の学校間交流」は、8月7日（水）に予定されていた家島高校への訪問が、台風による影響で中止となり、1月26日（月）に実施したちくさ高原でのスキー交流のみの実施となりました。今年度は、千種高校は参加者を「2年生アクティブコース」13名とし、家島高校は従来通りの1年生及び生徒会役員生徒計約50名の参加によって冬の交流を行いました。

冬の交流だけではあったのですが、今年度は夏の交流を企画する際、千種と家島の「文化交流」を実施することを交流の柱に掲げました。即ち、家島高校は「真浦の獅子舞」の披露を、そして千種高校は「千種高校周辺の歴史文化財」というスライド資料を作成するとともに、冬の交流会では「千種太鼓」を披露して家島高校を歓迎することにしましたのです。その様子を報告します。

#### ① 冬季スキー交流実施要項

1	目的：①スキー実習を通じて、自ら主体的に判断・行動する力や仲間を思いやる気持ち高め、人としての成長の機会とする。 ②環境の異なる学校との文化交流を通じて、お互いにより良い学校づくりに向けての情報交換の機会とする。
2	期日：平成27年1月26日（月）
3	場所：ちくさ高原スキー場
4	参加者：家島高校 第1学年40名、生徒会8名、引率教員5名 千種高校 第2学年アクティブコース13名、引率教員3名
5	内容：8：35 出迎え準備 10：40 スキー実習午前の部 9：00 家島高校千種高校到着 12：30 昼食 9：05 文化交流開始 13：15 スキー実習午後の部 9：30 千種高校出発 14：20 交流終了 10：00 ちくさ高原到着 14：30 閉講式 10：30 開講式 15：00 見送り
6	準備物：レンタルか各自持参のスキーウェア、手袋、帽子、ゴーグルは各自持参
7	実習費用：スキーレンタル一式 2000円 スキーウェア 1500円 昼食代 600円（カレー）

#### ②冬季文化交流・スキー交流点描



## (2) 赤穂特別支援学校との交流記録

千種高校と赤穂特別支援学校は、ちくさ高原スキー場を会場に隔年で交流を行っています。前回は、平成24年度（平成25年2月7日・8日）でしたが、初日が好天、2日目が大変な降雪で吹雪の中で実習をするのを断念せざるを得ないほど両極端だったのですが、今回は幸い天候にも恵まれ、少し曇りがちではあったものの安定した実習と交流を行うことが出来ました。

赤穂特別支援学校高等部としては2日間にわたる「冬季野外活動」であったのですが、本校が交流を行ったのは、下記実施要項概略が示す通り、2月12日（木）の午後と13日（金）の午前中のみでした。今年度は、特に2月14日（土）に「連携型入学者選抜」が実施されたため、13日の午後にはその準備に当たらねばならぬため、前回よりは短い期間の交流となりました。今年度の交流においても、2年生アクティブコースの生徒13名が活躍し、日頃のスキー授業で鍛えた腕（脚）を活かして赤穂特別支援学校の生徒たちをリードし、丁寧かつ有意義な交流に努めてくれていました。同コースの生徒たちにとっても多くの学びのある、良い機会でした。

### ① 実施要項概略（千種高校との交流に関する部分のみ抜粋）

1 期 日：	平成27年2月12日（木）・13日（金）																	
2 場 所：	ちくさ高原スキー場（ロッジちくさ）																	
3 参加生徒：	赤穂特別支援学校 高等部1・2年生 35名（男子24名、女子11名） 千種高校 2年生アクティブコース 13名（男子12名、女子1名）																	
4 引率教員：	赤穂特別支援学校 21名 千種高校 5名																	
5 日程概略：	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1日目</th> <th>12日（木）</th> <th>2日目</th> <th>13日（金）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12：30</td> <td>スキー教室①</td> <td>8：45</td> <td>スキー教室②</td> </tr> <tr> <td>13：00</td> <td>千種高校生徒紹介(開会式) 班別にスキー実習</td> <td></td> <td>班別にスキー実習</td> </tr> <tr> <td>15：30</td> <td>スキー返却</td> <td>11：30</td> <td>午前中スキー終了 スキー返却・挨拶(閉会式)</td> </tr> </tbody> </table>		1日目	12日（木）	2日目	13日（金）	12：30	スキー教室①	8：45	スキー教室②	13：00	千種高校生徒紹介(開会式) 班別にスキー実習		班別にスキー実習	15：30	スキー返却	11：30	午前中スキー終了 スキー返却・挨拶(閉会式)
1日目	12日（木）	2日目	13日（金）															
12：30	スキー教室①	8：45	スキー教室②															
13：00	千種高校生徒紹介(開会式) 班別にスキー実習		班別にスキー実習															
15：30	スキー返却	11：30	午前中スキー終了 スキー返却・挨拶(閉会式)															

### ② スキー交流点描（本校のHPブログから）



怪我防止のため、本校の生徒たちが皆の前に立ってお手本を見せながら全員で準備体操を行いました。スキーブーツで足首が固定されている上に、雪上は滑りやすいので支援学校の生徒達は悪戦苦闘でした。

スキーの練習はA・B・C・Dの班ごとに分かれて行いました。C班はまずストックを使って雪上を歩く練習をしました。次にスキー板をつける練習、片足だけスキー板をつけて滑る練習、両足にスキーをつけて平地を歩く練習もしました。ちくさ高原・スキー体験がより良いものになるよう、アクティブコースの皆さん、頑張りましょうね♪



本校生徒の中には「○○先生！」と呼ばれた子もいたようです。きっと、両校の生徒にとってとても新鮮で意義のある体験になったのではないのでしょうか。

## 3 2 平成26年度消費者教育への取り組み

商業科教諭 戎原 進一

### 1 西播磨消費生活出前講座について

今年度は、西播磨消費生活センターの西播磨消費生活出前講座を利用して消費者教育講座を行いました。「賢く使おう！ ネットとケータイ」と題して西宮市に本拠を置くNPO法人「C・キッズ・ネットワーク」から中野純子先生と岡部克子先生にお越しいただき、ロールプレイなどを交えながらお話をしていただきました。



### 2 消費生活活動発表交流会参加について

12月18日（木）に、たつの市新宮ふれあい福祉会館にて開催された「西播磨消費生活活動発表交流会」に、生徒会長の森脇大地が代表として参加し本校の取り組みを発表しました。

本校が昨年度から取り組んでいる情報モラル改善活動について「情報スマートさんへの道ーネット利用啓発活動を踏まえてー」と題して、消費者団体会員の方々の前で発表を行い、多くの方々に本校の消費者教育への取り組みを理解していただきました。



### 3 3 長崎県立大崎高等学校視察ご来校の記録

教頭 原田 尚昭

本校は、毎年他府県からの視察を受け入れていますが、今年度はちょうど「オープンスクール期間」の最終日に当たる11月28日（金）に、長崎県立大崎高等学校の先生方お2人をお迎え致しました。大崎高等学校は、右下地図でお分かりのように長崎県大島町にあり、平成25年4月から西海市立大崎中学校と共に「連携型中高一貫教育校」としてのスタートを切られました。

同校は、嘗ては8学級もある大規模校であったのですが、炭鉱採掘が下火となり始めてから人口が減り、今では2学級の小規模校となっています。ここで特筆すべきなのは、同校のHPにも数字が上がっていますが、平成26年度の生徒数は96名、教職員数は28名であるということですので。お越しになった時に直接情報交換をする中でお教えいただいたのですが、「長崎県の施策によって1学級とはせずに2学級制度を維持していただいている。故に教職員数も多く、たくさんある空き教室を活用して少人数教育を展開している。」とのことでした。

さらに驚くべきことに、上述の大崎中学校は大崎高等学校と同一敷地内にあり、高校とは別棟の校舎を活用しているため両校の交流（連携授業等）がやりやすいとのことでした。従って、「連携型中高一貫教育校」とは言いながらも、「中等教育学校」程ではないにしても県立大附属中・高校の「併設型」よりも更に両校の距離が近い型と言えるのではないかと思います。

いずれにしても、教職員定数標準法の特例とでも呼ぶべき措置によって、本校とほぼ同等の規模の高校が2学級制度の恩恵を受けている例が現にあるということは、本県でもそのような先例を作るべきではないかと考えます。さらに言うならば、昭和63年には静岡県で既に行われていた県立高校と市立中学校教員の交換交流人事（1年間）も、千種高校と千種中学校（連携型中高一貫教育校間）ならば可能であろうし、是非実現すべきであると思います。

以下、大崎高等学校の先生方にお越しいただいた時の概要です。

1 日時：平成26年11月28日（金）9：30～12：00

2 訪問者：長崎県立大崎高等学校  
教頭 岩橋 順弘 先生  
教諭 山口 浩司 先生

3 日程概略：

- 9：30 本校到着
- 9：30～10：00 校長懇談（校長室）
- 10：00～10：25 学校概要説明（応接室）
- 10：35～11：25 授業視察及び校内施設巡回
- 11：35～12：00 質疑応答（応接室）
- 12：00 お見送り

※事前質問依頼及び協議事項

- (1) 連携型中高一貫教育に係る諸取り組みについて
  - ① 合同行事について
  - ② 乗り入れ授業について
  - ③ 生徒交流について
  - ④ 教職員の交流・情報交換等について
  - ⑤ 中高一貫校としての学力向上への取り組み
  - ⑥ 生徒確保の工夫について
  - ⑦ その他
- (2) その他
  - ① 特色ある行事等について



11月18日(火)午後、千種高校に兵庫県議会文教常任委員会の先生方をお迎え致しました。学区改編の荒波に屈することなく、更に学校を発展させていきたいと考えていた矢先に、本校の実情を文教常任委員会の先生方につぶさにご覧になっていただいたこと、また、通常ならば一時間程度で終わるはずの管内調査に「県民との意見交換会」を更に一時間加えて設けていただけただことは、望外の喜びでした。これもひとえに宍粟市選出の兵庫県議会議員であられ、文教常任委員会副委員長であられる、春名哲夫先生のご尽力の賜物であります。厚くお礼を申し上げます。

管内調査議事や県民との意見交換会で話されたことは、此処では差し控えさせていただきますが、「平成26年11月、兵庫県議会文教常任委員会千種高校視察」という一事は、兵庫県下初の連携型中高一貫教育校として歩みを始めてから5年を経て、次なる一手を模索しつつある本校にとっては非常に大事な歴史上の一頁となるが故に、その概略のみ以下に記し、翌日掲載の神戸新聞記事をお借りして、その様子を伝えることと致します。

県議会文教常任委員会管内調査概要	
1 日時	平成26年11月18日(火) 13:20~15:20
2 内容	(1) 連携型中高一貫教育校に関する調査 (2) 県民との意見交換会 「地域と連携した学校づくりの取組」について
3 来訪者	兵庫県議会文教常任委員会 13名 (宍粟市選出議員 春名哲夫先生 副委員長) 随行者 議会事務局 2名 教育委員会事務局 1名 (総務副課長) 計16名
4 日程概略	ご到着 (お出迎え) 13:20 第1部 調査会議 (会議室) 13:20~14:00 授業見学 14:00~14:10 第2部 意見交換会 (会議室) 14:10~15:00 施設 (部活動) 見学 15:00~15:15 ご出発 (お見送り) 15:20
5 本校参加者	校長、教頭、事務長、主幹教諭 計4名 意見交換会参加者 学校評議員4名、ちくさっ子を育てる会会長、 千種中学校長、千種高校を支援する会会長 計7名

千種高校は、ありがたいことに地域の多くの皆様が応援をして下さっています。この日も、本校の学校評議員の方々を始め、千種高校を支援する会、ちくさっ子を育てる会、そして千種中学校の校長先生にもお越しいただき、応援の弁を述べていただきました。中でも給食の件は右の新聞記事にも取り上げられています。

なお、県民との意見交換会終了後、本校生徒会長・森脇大地君が「ふるさとへの誇り」と題する英語スピーチを堂々と披露し、たたら製鉄の故郷であり、自然や歴史・文化の香り豊かな千種町に対する愛着を語り、委員の先生方から大変な拍手喝采を浴びたことも記しておきます。



### 35 兵庫県教育委員・玉岡かおる先生出前授業

国語科 西 佑一郎

1月16日(金)の5、6時間目の時間帯に教育委員の玉岡かおる氏による出前授業が行われました。「日本人と神・ほとけ」という題目で、生徒たちにわかりやすく宗教観についてお話をしていただきました。まず、ちょうどこのときパリで起きていたシャルリ・エブド事件を例として、世界中で宗教観の違いによって衝突が起きていること、日本人も無関係ではいられないこと、自分なりの宗教観をもつことの大切さについて話されました。

次に、生徒全員に「①あなたの信仰は何か②初詣には行ったか③お守りは持っているか④クリスマスは祝ったか⑤お盆に墓参りに行ったか」などといった、日常生活に関する質問を投げかけて生徒がもっている宗教観を導き出されました。

最後に日本人の宗教観は種々雑多な神々の混合によって成り立っていることについて話されました。日本人は豊かな森に囲まれた環境での暮らしのなかで自然と感応することで神の存在を感じてきました。緑に覆われていないヨーロッパの山々と日本の森という風土の特徴が、それぞれの宗教の在り方に反映されています。生徒たちは日本の宗教(多神教)がもつ寛容の精神に触れ、みずからの宗教観を新たにしていました。

このような内容ではあったのですが、普通ならば居眠りをしてしまうであろう生徒たちが全く眠りに落ちない、そんな面白さと素敵な魅力に満ちた先生のお話でした。特に、ご自身の書かれた『にっぽん聖地巡礼の旅』をテキストとして生徒を前に並ばせて順に音読をさせていかれる手法は、読む側も見る側もどきどきの連続で、実にスリリングな魅力に満ちた時間でした。

#### 兵庫県教育委員による出前授業の実施について

- 1 日時： 平成27年1月16日(金) 13:30~15:00
- 2 会場： 兵庫県立千種高等学校 視聴覚教室(特別教室棟3階)
- 3 参加者： 兵庫県立千種高等学校 1・2年生(65名)
- 4 講師： 兵庫県教育委員 玉岡かおる先生  
作家 大阪芸術大学・大学院客員教授 加古川市在住  
昭和31年 兵庫県三木市生まれ  
昭和54年 神戸女学院大学文学部卒業  
昭和63年 「夢喰い魚のブルー・グッドバイ」(新潮社)で  
文壇デビュー 執筆の傍らテレビ等に出演中  
平成25年 兵庫県教育委員就任
- 5 テーマ 「日本人と神・ほとけ」(日本人のこころ・精神にふれる)

そもそも、何故有名作家の玉岡先生が千種高校に来られたのか。それは、5月15日付で県教委総務課から届いた「教育委員による出前授業の実施について」という通知がきっかけでした。駄目で元々と思い、「希望あり」として玉岡先生のお名前を書いて申し込んでいたところ、9月頃になって「当たりました」との回答があり、非常に驚いたのを覚えています。しかも、希望する高校が多い中で、

姫路東高校と千種高校の2校の

みを玉岡先生がお選びになったのです。希望していた11月頃はお忙しく雪の多い1月中旬でしたが、東高校へはご自身のお車で、そして、本校へは県の公用車に乗せてもらってお越しになりました。



本当は、広い体育館で小中高の児童・生徒及び地域の皆様にもお声をかけて講演会としたかったのですが、寒い時期でもあり、先生が「授業形式」を希望されましたので、高校1・2年生のみを対象とした「授業」となり、生涯忘れ得ぬ思い出となりました。



## IV 各教科の取り組み

### 1 漢字能力検定

国語科

実施日		級別受検者 内訳			
第1回	平成26年7月11日(金)	二級	3年生	1名	計15名
			2年生	1名	
			1年生	0名	
		準二級	3年生	5名	
			2年生	1名	
			1年生	0名	
		三級	3年生	1名	
			2年生	0名	
			1年生	0名	
		四級	3年生	0名	
			2年生	1名	
			1年生	0名	
		七級	3年生	0名	
			2年生	1名	
1年生	0名				
平成26年度合格者総数		二級	1名		計7名
		準二級	2名		
		三級	1名		
		四級	1名		
		七級	1名		

今年度の目立った成果として、2級の合格者を出すことができたことが挙げられる。その一方で、団体受験に必要な参加者数10名が集まらなかったこともあり、第一回の検定のみの実施にとどまった。来年度以降はチャレンジコース全員で参加し、年度ごとに三回の実施をめざしたい。一人でも多くの生徒の国語力を増進させ、達成感を味わうことができるように、中高連携の漢字検定補習を行うなどして学習環境の充実を図りたい。



## 2 数学検定

## 数 学 科

数学検定「数検」とは、数学の実用的な技能（計算・作図・表現・測量・整理・統計・証明）を測る検定です。三大検定のひとつでもあり、数検財団が実施している全国レベルの実力評価システムです。いまや数学・算数に関する検定のスタンダードとして進学・就職に必須の検定となっています。日本国内はもちろん、韓国やインドネシアなどでも実施され、海外でも高い評価を得ています。

今年度も中高連携の一環として千種中学校と合同で団体受験を2回実施することができました。補習は検定の約1ヶ月前から行いました。普段の補習や部活等もあり、なかなか時間がとれませんでした。極力空き時間を有効に利用し集中的に学習することができました。そして2級1次合格1名、準2級合格4名という成績を収めてくれました。去年と比較してもより多くの生徒が数学検定合格に挑んでくれました。数学離れが進んでいる現代社会において、一人でも多く数学検定に取り組み、数学を身近な存在として感じてもらえたらと思っています。まだまだ人数不足という課題はありますが、数検の取得が生徒の自信につながってくればと、また進学・就職に少しでも役に立てればと思っています。

### 今年度の実施状況

第252回（第1回目） 6月21日（土） 5名受験（2級1名、準2級4名）  
第264回（第2回目） 1月17日（土） 7名受験（2級1名、準2級5名、3級1名）

### 合格者人数

完全合格5名（準2級4名 3級1名）中学生1名を含む  
1次のみ合格6名（2級1次1名 準2級1次2名）

### 問 題

以下、第264回平成27年1月17日（土）実施 2級2次：数理技能検定から抜粋

#### 問題5.（選択）

A, B, C, Dを相異なる1から9までの数字とします。有理数

$$\left(\frac{AAB}{BCD}\right)^2$$

の値が円周率 $\pi(=3.1415926\dots)$ にもっとも近くなる時、A, B, C, Dにあてはまる数字を求めなさい。ただし、AABとBCDはどちらも3桁の整数を表します。この問題は解法の過程を記述せずに、答えだけを書いてください。 (整理技能)



### 3 英語検定・千種町英語教育研究会

英 語 科

#### (1) 実用英語技能検定

中高連携の一環として、本校を準会場とした実用英語技能検定試験(英検)の団体受験を6月、10月、1月の年3回実施した。

第1回実用英語技能検定試験(一次試験:6月8日 二次試験:7月6日 実施)

受験者9名(内訳=小学校4名 中学校3名 高校2名)

2級=1名 準2級=1名 3級=1名 4級=2名 5級=4名

合格者5名(内訳=準2級…1名 4級…2名 5級2名)

第2回実用英語技能検定試験(一次試験:10月12日 二次試験:11月9日 実施)

受験者17名(内訳=小学校6名 中学校6名 高校5名)

2級=6名 準2級=2名 3級=2名 4級=3名 5級=4名

合格者9名(内訳=2級…1名 準2級…2名 4級…3名 5級3名)

第3回実用英語技能検定試験(一次試験:1月25日 二次試験:2月22日 実施)

受験者16名(内訳=小学校4名 中学校8名 高校4名)

2級=6名 準2級=1名 3級=5名 4級=2名 5級=2名

合格者5名(内訳=3級…2名 4級…2名 5級1名)

※今年度は千種高校生1名が2級に、1名が準2級に合格した。

#### (2) 千種町英語教育研究会

今年度も、千種小中高の外国語活動及び英語科担当教員が授業研究会・講演会等を行い、小中高一貫の英語教育研究を実施した。詳細は『平成26年度千種町英語教育研究会実践記録集』に譲ることとするが、その概略は以下の通りである。

##### ① 平成26年度の動き

- |           |  |
|-----------|--|
| 5月中旬      | 兵庫県教育委員会主催「教職員自主的研究推進事業」申請 6月認可        |
| 6月14日(土)  | 小中連携授業「外国語活動」実施(於:千種小学校)               |
| 7月 3日(木)  | 中高連携授業実施(於:千種中学校)                      |
| 7月16日(水)  | 小高連携授業実施(於:千種小学校)                      |
| 8月中旬      | 「しその逸話—千種編」英語翻訳作業(千種中高教員・ALT)          |
| 9月16日(火)  | DaveとZachの英会話教室(商店街空店舗活用事業)<br>以降月1回実施 |
| 10月16日(火) | 第1回英語授業研究会・講演会(於:千種中学校)                |
| 11月25日(火) | 中高連携授業実施(於:千種中学校)                      |
| 12月 3日(水) | 第2回英語授業研究会(於:千種高等学校)                   |
| 2月 3日(火)  | 第3回英語授業研究会(於:千種小学校)                    |
| 3月下旬      | 本年度研究活動のまとめ(冊子作成)                      |

##### ② 平成27年度への展望

来年度においても、上記の如き各校間の「連携授業」や合同の「英語授業研究会」を引き続き実施するとともに、千種町ならではの活動、例えば「千種学」や映像版昔話「しその逸話・千種編」の英語教材化、或いは幼少中高どの年齢でも使える「英語童謡マザーグース」の普及活動等に取り組みたい。

## 4 千種川水温調査・水生生物調査等の記録

理科担当 篠 泰介

### (1) 「千種川水温調査」

- ①年月日 平成26年8月3日(日)
- ②時間 13:00~16:00
- ③参加生徒 3名(サッカー部)
- ④調査項目 水温、流速、電気伝導度

この調査は川の環境を測定することを目的に同日同時に千種川の源流部の千種町三室・天児屋から赤穂市河口部までの全94地点で一斉に水温を測定する。今年度で13年目と継続的に行われている。参加団体も高校だけでなく、小学校、中学校、地域の団体、個人など様々である。それらの調査の結果は千種川圏域清流づくり委員会がその日のうちにまとめ、年度末に調査結果を冊子にまとめる。

生徒はサッカー部の有志が参加した。小雨が降る中の調査であったが、生徒達は気持ちよく調査にしてくれた。千種川の水の美しさや、冷たさを肌で感じながら、川の特徴である水温や流速、電気伝導度を測定した。水温の低さや、場所による変化に驚いた様子で、千種川の魅力を改めて知る機会として有意義であった。環境の変化は単年度や数年ではわからないので、今後もこの調査を継続し、千種高校としても協力をしていきたい。

### (2) 「水生生物調査」

- ①年月日 平成26年9月27日(土)
- ②時間 13:00~16:00
- ③参加生徒 10名(サッカー部、1、2年チャレンジコース)

この調査も「千種川水温調査」同様外部団体(主催 ライオンズクラブ国際協会)に協力し実施している。歴史が古く今年度は第42回目の実施となる。この調査では、水質の指標生物である水生昆虫を調べることにより、水質を調べることを目的としている。全国各地で水生昆虫による水質調査は行われているが、このように長期間にわたり調査が行われることはない。

調査には、サッカー部有志と1、2年チャレンジコースの生徒が参加した。全員が初めての参加であり、興味深く取り組むことができた。女子の参加も多く、水生昆虫を見るのも初めてで、水の中に小さな様々な昆虫が生息していることに驚いていた。

歴史も長く、河川を知るうえで非常に重要な調査であり、参加することで千種川のことをより身近に感じることができる貴重な機会であるので、千種川を大切にすする住民を増やすためにも、今後も参加していきたい。



## 5 商業関係検定

商業科教諭 戎原 進一

### 1 商業関係検定について

本校では、商業に関する下記の検定を実施しました。

検定試験名	主催団体
ビジネス文書実務検定	全国商業高等学校協会
日本語ワープロ検定 情報処理技能検定 プレゼンテーション作成検定	日本情報処理検定協会
簿記能力検定	全国経理教育協会

### 2 受験状況

今年度の各検定の3級以上の受験状況は、下記の通りでした。

検定試験名	受験級	受験者数	合格者数
第51回ビジネス文書実務検定	1級	7	2
	2級	14	9
	3級	11	10
第52回ビジネス文書実務検定	1級	10	2
	2級	8	5
	3級	3	3
第101回日本語ワープロ検定	1級	3	2
第97回情報処理技能検定	1級	9	7
	2級	1	1
第98回情報処理技能検定	1級	2	2
第99回情報処理技能検定	1級	1	1
第27回プレゼンテーション作成検定	1級	2	2
第29回プレゼンテーション作成検定	1級	6	6
第175回簿記能力検定	3級	12	2
第176回簿記能力検定	3級	4	1
第177回簿記能力検定	3級	12	4

### 3 今年度の取り組み

生徒の実態に合わせて、今年度も新たな検定に挑戦しました。その結果、今年度初めて日本情報処理検定協会主催の検定3種目1級合格を2名の生徒が成し遂げ検定委員長賞を受賞しました。また、全国経理教育協会には検定団体優秀校として認められ、検定取得に向けて努力した3名の生徒が表彰されました。

受賞賞	受賞者
日本情報処理検定協会検定委員長賞	荒尾 圭祐
	井口 拓実
全国経理教育協会検定団体優秀賞	内海 秀星
	岸本 実樹
	金本 光暉

## 6 ビジネスプラン・グランプリへの取り組みについて

商業科教諭 戎原 進一

### (1) 高校生ビジネスプラン・グランプリについて

今年度、第2回高校生ビジネスプラン・グランプリに2年生ベーシックコース 12名が参加しました。このグランプリは、高校生に「起業教育」を通して、自ら未来を切り拓いていける可能性を体感してもらいたいという思いから、日本政策金融公庫が主催して平成25年度から開催されています。募集は7月に始まり、全国の高校生から新たなビジネスプランを募集し、翌年1月にベスト10とベスト100の優秀賞を決定するものです。

### (2) 本校の取り組みについて

2年生ベーシックコースのビジネス基礎の授業内で、ビジネスプランを考えグランプリに応募しました。プラン作成にあたり、日本政策金融公庫国民生活事業神戸創業支援センター所長の青木伸也さんに本校へお越しいただき、6月と9月に出張授業を行っていただきました。6月の授業では、ビジネスプラン作成について基本的な内容の講義をしていただきました。そして9月の授業では、実践編として収支計画の作成方法を中心に講義をしていただきました。最終的には、本校は下記の2つのビジネスプランを作成し、応募しました。

ビジネスプラン名	ビジネスプラン内容
千河（ちこう）モール （日本一小さい全日制普通科高校からの村おこし）	千種北小学校跡地を利用した、モールの運営。
町内お知らせ任せな隊 （日本一小さい全日制普通科高校からの町おこし）	千高街の駅を利用したお便り代行サービス会社の運営。



基礎編（6月26日）



応用編（9月25日）

### (3) 結果

全国から合計1,717件のビジネスプランがエントリーされ、12月5日に審査が行われました。その結果、残念ながらベスト10には選ばれませんでした。しかし、プランの内容は優秀なものと認められ、「高校生ビジネスプラン・ベスト100」に上記の2つのプランが選ばれ、表彰を受けました。ベスト100には兵庫県から4つのプランしか選ばれておらず、そのうち2つが本校のプランであり、生徒の地元への思いが詰まった優秀なビジネスプランであったといえます。

来年度も本校だからこそ考えることができる、地域に根差したビジネスプランを考え、グランプリに応募したいと考えています。

## V 部活動の取り組み — 光る汗、輝く瞳、草魂千種の活動記録 —

### 1 硬式野球部

顧問 田中 孝英

【顧問】	部長：戒原 進一	監督：田中 孝英		
【部員数】	3年7名(マネージャ1名)	2年5名	1年3名	合計15名
【戦績】	平成26年度 春季県下大会西播支部予選	1回戦	千種0-12	東洋大姫路
	第96回全国高等学校野球選手権兵庫大会	1回戦	千種4-6	福崎
	平成26年度 秋季県下大会西播支部予選	1回戦	千種0-10	飾磨
	同 敗者復活1回戦		千種0-10	琴丘

4月に3名の新入生を迎え、今年度は計15名での活動となりました。ここ数年、初戦敗退が続いている夏の公式戦での1勝を最大の目標として、平日は基本練習の反復に力を注ぎ、週末は県内各地への遠征で練習試合をこなし力を付けました。そして迎えた3年生にとっては最後となる夏の大会。試合前半に先制されるもののすぐさま逆転し、中盤では中押しとなる追加点を挙げ、昨夏ベスト16の実力校を相手に終始押し気味に試合を進めましたが、終盤にわずかなミスのほころびから最終回に逆転を許しゲームセット。最後の攻撃では一打同点の場面を作るなど最後の最後まで食らいつきましたが、残念ながら今年も「夏の公式戦での1勝」という目標を達成することはできませんでした。しかし、常に明るく元気よくキビキビと動き、決してあきらめない姿勢を最後まで貫いた



“Enjoy Baseball”に、スタンドから、また地域の方々から数多くの拍手をいただきました。悔しさを引き継いだ新チームは8人での苦しいスタートとなりましたが、「気持ちの良い野球部」、「気持ちのこもった野球」を今後も継続し、全員の力を合わせ一丸となって「愛される野球部」を作っていきたいと思います。ご声援よろしくお願い致します。



### 2 サッカ一部

顧問 筏 泰介

部員は1年生4名、2年生4名、3年生5名で活動しました。ほぼ全員が高校からサッカーを始めましたが、毎日活動し上達しました。

8月19日に地域のサッカー教室を開催し、部員が小学生をリードし、一緒にサッカーを楽しみました。

また、本年度の9月に行われた選手権予選の福崎高校戦では、本



校創部14年目にして初の公式戦での勝利を収めることができました。大雨の中、経験者ばかりのチーム相手に必死で戦い、2得点を収め失点もなく歴史的な勝利を飾ることができました。



### 3 男子バレーボール部

顧問 坂根 大樹・照本 和生

4月に1年生1人が入部して、3年生3人、2年生4人の計8人でのスタートとなりました。前期リーグ戦では、惜しくも2部昇格を逃し、県総体では、1回戦で近隣の伊和高校に敗退し、非常に悔しい思いをしました。また、夏合宿では、淡路に2泊3日で3日間たくさんの高校と練習試合をし、仲間の絆も深まりました。3年生が引退してからは、なかなか良い結果が出ていませんが、1年生が新たに2人加わったので、また新しい気持ちで毎日の練習を頑張りたいです。



#### 戦績

4 / 26 (土)

前期西播総合体育大会  
千種0 - ②市川

12 / 25 (木)

後期西播総合体育大会  
千種0 - ②龍野  
敗者復活  
千種0 - ②佐用

5 / 10 (土) ~ 5 / 11 (日)

前期西播リーグ戦 (3部)  
千種0 - ②姫路東  
千種② - 1伊和  
千種1 - ②香寺  
千種② - 0県立大附

#### 3部残留

5 / 31 (土)

兵庫県高等学校総合体育大会  
千種1 - ②伊和

8 / 11 (月)

春の高校バレー西播予選大会  
千種0 - ②姫路

8 / 28 (木)

ホープ杯  
千種0 - ②龍野  
千種1 - ②龍野北

9 / 27 (土) ~ 9 / 28 (日)

後期西播リーグ戦 (3部)  
千種0 - ②市川  
千種1 - ②姫路西  
千種0 - ②龍野北  
千種1 - ②姫路商

#### 4部降格

11 / 22 (土)

秋季西播優勝大会  
千種0 - ②相生

#### <平成26年度練習試合相手校>

(阪神) 伊丹北・川西緑台  
(神戸) 神戸  
(西播) 姫路南・伊和・県立大附・  
姫路商・佐用・琴丘・飾磨  
(丹有) 北摂三田  
(淡路) 洲本実  
(大阪府) 茨木西・大商学園  
(鳥取県) 岩美・鳥取東  
(岡山県) 津山東

## 4 女子バレーボール部

顧問 上山 麻美 西 佑一郎

4月。3年生3人、2年生6人、1年生1人が入部し、計10人でのスタートとなりました。西播大会初戦突破、そしてリーグ昇格を目標に練習に取り組んできました。4月5月の大会では結果を出すことは出来ませんでした。着実にチームとして力をつけていき、中身のある試合展開が多くなってきました。3年生も引退し、新チームに部員3名が加わり、夏休みには、強豪チームとの合宿や合同練習を行うなど、意欲的に活動しました。そして、後期リーグ戦ではチーム目標のリーグ昇格を果たし、前期リーグ戦の悔しさを見事に晴らしました。今後もバレーボールを通して、人間力をさらに磨き上げていきます。

### 戦績

4 / 26 (土) 前期西播大会  
1回戦 千種0 - ②姫路飾西

5 / 11 (日) 前期西播リーグ戦 (5部)  
千種② - 0伊和  
千種② - 1姫路別所

5 / 31 (日) 総合体育大会  
千種0 - ②社

8 / 11 (月) 県西播予選大会  
1回戦 千種② - 0姫路西

### 初戦突破

2回戦 千種1 - ②上郡

9 / 27 (土) 後期西播リーグ戦 (5部)  
千種② - 1播磨  
千種② - 1姫路西

### 4部昇格

11 / 22 (土) 秋季西播優勝大会  
千種0 - ②姫路東

12 / 25 (木) 後期西播大会 (本戦)  
千種0 - ②飾磨  
同大会敗者復活戦  
千種② - 0姫路別所  
千種0 - ②佐用



## 5 ゴルフ部

顧問 松井 利澄・照本 和生

ゴルフ部は、部員1年3名、2年1名、3年6名の計10名で活動しています。普段は全面芝生化されたテニスコートで練習を重ね、週1回程度は放課後に千草カントリークラブで3ホールのラウンドをさせていただいています。月1度のペースで八幡ゴルフセンターに赴き、1時間程度の奉仕作業をしてから「香川塾」でお馴染みの香川プロによるレッスンを受けています。夏には合宿や二度のプロによるラウンドレッスンを実施し、様々な活動を通して体と心を鍛えてきました。春と冬のチャレンジカップ（西播大会）にも出場し、2季連続の個人団体県大会出場を果たしました。全面的にご協力いただいているアイランドゴルフガーデン千草（3月から名称変更）の皆さんをはじめ、ゴルフ部に関わってくださる全ての人への感謝の気持ちを大切に、さらなる飛躍を誓います。

<26年度出場大会>

4/25（金）3支部合同チャレンジカップ（粟賀GC）

<4名出場> ☆内海秀星トータル93（西播5位・個人県大会出場権獲得）  
団体県大会出場権獲得（内海・清水一・阿曾・津志）

5/12（月）県総体（宝塚GC）個人64位（100ストローク） 団体11位/11チーム中

1/28（水）3支部合同チャレンジカップ（吉川インターGC）

<4名出場> ☆津志隼109（西播6位・個人県大会出場権獲得）  
団体県大会出場権獲得（津志・井口・藤原）

2/16（月）県総体（宝塚GC）個人34位（102ストローク） 団体4位/4チーム中

<利用ゴルフ場（大会・公式Rを除く）>

千草CC（通算7ラウンド）・佐用スターリゾートGC（通算4ラウンド）

フォレスト市川GC（通算4ラウンド）・吉川インターGC（通算1ラウンド）

播州CC（通算1ラウンド）

5/12（月）県総体（宝塚GC）

<合同ラウンド相手校>

東洋大姫路・市川・龍野



## 6 ライフル射撃部

顧問：西佑一郎・安積拓男

《部員数》 7名（男子7名） 【平成27年3月現在】

個人スポーツであるが故に、自分との戦いが続く孤独なスポーツである。各自の目標を見定め、日々の練習に取り組んでいる。2年生は継続的な努力が実を結び、着実に力をつけている。その姿勢を見て、後輩である1年生も各自努力をし、記録を更新するために力を尽くすようになっている。部全体として、いい雰囲気練習できており、練習に集中できる場所になってきている。

また、明石西高校、氷上西高校と合同の記録会を行った。この記録会は近畿大会出場者の選考を兼ねているため、本番さながらの緊張感のなかで切磋琢磨してきた。

来年度には、これまでの実績の上に立ってさらなる発展を望みたい。

また、10月26日のふれあい文化祭では千高街の駅において、地域住民の方々を対象にライフル射撃体験をしていただいた。珍しい競技であるためか、子どものみならず、多くの大人の方々に興味をもっていただいた。また、地域の方々にライフル射撃部の活動を知っていただくよい機会となった。



## 7 スキー部

顧問 福永 順二郎・筏 泰介・上山 麻美

本年度スキー部は1年生男子が一人入部し、久しぶりに活動することができました。その部員は春から冬にかけて30kmの道のりを毎日自転車で通い、下半身を鍛えました。また、日々の厳しいトレーニングでも音を上げることなく、力をつけました。その結果、神鍋高原で行われた近畿大会のグランドスラロームでは、兵庫県勢で2位の結果をのこし、全国高等学校選抜スキー大会アルペン種目の選手に選ばれました。その大会では、残念ながらコースアウトしてしまいましたが、全国の強豪たちと戦うことで技術に磨きをかけることができました。来年度の活躍が大変期待されます。

### 戦績

1 / 7

県総体

ジャイアントスラローム 4位

スラローム 4位

1 / 17

国体予選

ジャイアントスラローム 8位

スラローム 8位

1 / 27・28

第63回近畿高等学校スキー選手権大会

ジャイアントスラローム 県勢2位

スラローム 県勢2位



3 / 12~15

第27回全国高等学校選抜スキー大会

スラローム 失格（コースアウト）

## 8 茶華道部

顧問 八田 直子

- (1) 部員数 1年2人、2年2人、3年1人
- (2) 活動日 火曜日
- (3) 活動場所 特別教室棟1階 作法室
- (4) 活動記録

### ①文化祭 6月14日(土)

お茶席・生花展示

茶華道部は、茶華道講師歴50年以上の小原千鶴子先生のご指導を受けて、活動しています。流派は、茶道が「御所流(ごしょりゅう)」、華道が「東雲御流(とううんごりゅう)」で、非常に由緒ある流れを持つ教えを受けています。

茶道の作法を通じて一連の所作や空間の美しさを学び、華道においては草花の生け方に工夫を凝らして審美眼を高めることが目標です。堅苦しいイメージを持たれる事が多いですが、日本古来のおもてなしの心を学ぶいい機会となっています。茶華道の世界を、少しでも多くの生徒に理解してもらい、末永く続けられるように努力を重ねます。



## 9 カルチャー部(軽音楽部)

顧問 八十川 洋一・八田 直子

- (1) 部員数 1年3人、2年6人、3年6人
- (2) 活動日 月曜日・木曜日
- (3) 活動場所 特別教室棟5階 音楽準備室
- (4) 活動記録

自分たちでやりたいと決めた曲を日々練習しています。その実力が試される場所として、本年度は本校の文化祭、妙見祭り、ちくさふれあいフェスタでした。部員で演奏する楽しみもありますが、聞いてくださる皆さまとの一体感が忘れられません。これからも千種高校の音楽文化をリードするつもりで頑張っていきます。



①文化祭  
6月14日  
本校体育館

②妙見夏祭り  
7月26日  
千種小学校グラウンド

③ちくさふれあいフェスタ  
10月26日  
栄々人來広場

## 10 ボランティア部

顧問 安積 拓男・坂根 大樹

私たちボランティア部は、1年6人、2年4人、3年4人の計14人で活動しています。

普段は、一人暮らしの高齢者の方、二人暮らしの高齢者夫婦の方々のお宅に、お弁当を配食しています。高齢者の方が、本当に喜んでいただけるのがうれしいです。

その他には、「千高街の駅」のイベントへの参加、千種町内の美化活動、雪遊びボランティア、太鼓演奏や老人ホームでの花植えボランティアなどを行っています。

日常生活では、高齢者の方々や、地域の方々と関わる機会が減っていますが、ボランティア部の活動を通して、たくさんの方々とお会いして、地域に貢献できるボランティア部を目指し、これからも笑顔と元気を届けていきたいと思ひます。



## 11 パソコン部

顧問 戎原 進一

パソコン部は、部員1年生2名、2年生6名、3年生1名の計9名で活動をしています。ビジネス文書実務検定・情報処理技能検定など各種検定取得を目指し、日々練習に取り組んでいます。そして、今年度は第26回兵庫県高等学校ワープロ競技会に出場しました。結果は、参加19校中18位と残念でしたが、パソコン部として新たな一歩を踏み出すことができました。大会後は他校との合同練習会を重ね、各自が明確な目標をもち上位大会進出を目指して努力を続けています。

また、文化祭では各自が考えた模様をプリントした「エコトートバッグ」の販売を行いました。準備をした100枚すべてを販売し、多くの皆様に喜んでいただくことができました。



他校との合同練習



エコトートバッグの販売（文化祭）

## VI 平成25年度式典の記録

### 1 入学式 校長式辞

#### 平成26年度 入学式式辞

山の木々も日を追うごとに柔らかな緑に包まれ、校庭の桜や草花に 春の息吹が感じられるこの佳き日に、兵庫県議会議員 春名 哲夫 様 宍粟市長 福元 晶三 様 を始め、多くのご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席を賜り、平成26年度兵庫県立千種高等学校の入学式を挙行できますことは、私ども教職員一同、この上ない喜びでございます。心よりお礼申し上げます。

ただ今、本校の第42回生として、入学を許可しました30名の皆さん、入学おめでとうでございます。保護者の皆様、お子さまのご入学、本当におめでとうでございます。心よりお祝い申し上げます。

私たち教職員一同、みなさんの入学を心から歓迎いたしますとともに、大事なお子さまをお預かりする 責務の重さを 痛感しております。保護者の皆様をはじめ、地域の期待と信頼に応えるべく、教職員が一体となり、最善を尽くし取り組んでまいります。

さて本校は、昭和23年県立山崎高等学校千種分校として発足し、昭和50年には生徒数の増加にともない、地域の方々の願いにより県立千種高等学校として独立をいたしました。開設以来「自立・信愛」の校訓を掲げ、これまでに数多くの人材を輩出し、卒業生は各方面で活躍されています。

そして、ご存知のとおり 平成22年度から 兵庫県初の「連携型中高一貫教育校」として 連携入試が始まり、今年で5年目を迎えることになりました。全校生100名の小さな学校ではありますが、「地域の子は地域で育てる。」との理念のもと、卒業生をはじめ、地域の皆様の絶大なるご支援、また、教職員の情熱溢れる指導の下、連携行事・連携授業、部活動での取り組みを行っております。その活動は、兵庫県はもとより他府県からも小規模校のパイロット校として、非常に高い評価をいただいております。

これから、千種高等学校がさらに発展をしていくためには、新入生の皆さん一人ひとりの努力と頑張りがぜひとも必要なのです。

本校の校訓は先ほど述べたように「自立 信愛」です。日々の生活の中で、自らに対しては厳しく律し、他に対しては温かく、また、自分自身を信じ愛するとともに、他を信じ愛することを心がけてください。

21世紀は「こころの時代」と言われています。この校訓を心に留めて、本校の3年間で多くの感動・体験を通して豊かなこころを育み、人間力を高めてください。そして、美しく豊かな自然環境の中で、郷土を愛し誇りとする心と、地域のあり方、自分の生き方を求めて向上する強い意思をもって自立していけるよう願っております。

本校の生徒 一人ひとりが 輝く千種高等学校であるよう 私たち教職員一同 努めてまいりますことを ここに申し上げ 式辞といたします。

平成26年4月8日

兵庫県立千種高等学校長 長森 順子



## 2 卒業証書授与式

### (1) 校長式辞

#### 第40回卒業証書授与式式辞

残雪を頂く三室山や千種川のせせらぎに、早春の息吹が満ちゆく今日の佳き日に、宍粟市長 福元晶三様をはじめ、多数のご来賓、保護者の皆様のご臨席のもと、兵庫県立千種高等学校第 四十回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、本校教職員、生徒一同誠に光栄であり、心から感謝申し上げます。

四十回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これまで皆さんが尽くされた努力と研鑽とを心から讃えたいと思います。また、この日まで長きにわたって皆さんの勉学を支え励ましてこられた保護者の方々のお喜びはいかばかりかと拝察いたします。

本日のこの喜びは、卒業生の皆さんのたゆまぬ努力の結果であることは言うまでもありませんが、皆さんのことを絶えず気遣いながら支えて下さったご家族と周囲の方々、地域の方々の励ましのたまものであることを決して忘れてはいけません。この人生の節目に当たり、お世話になった方々へ素直に感謝の気持ちを伝えてもらいたいと思います。

さて、本校は、平成二十二年度から兵庫県初の「連携型中高一貫教育校」となり、宍粟市立千種中学校との連携を深めながら魅力ある学校づくりに取り組んできました。卒業生の皆さんは、「自立・信愛」の校訓のもと、勉強・部活動・中高連携での行事、地域活動などの中心となって頑張りを見せ、この学舎で三年間充実した高校生活を送り、一人一人の輝きを増しながら、人として成長し、本校の行く末に新たな光をもたらしてくれたと誇りに思っています。

さて、今日、人口減少社会の到来やグローバル化の進展など、社会の急激な変化は、我が国のあらゆる面に影響を及ぼし、将来の予測が困難な時代となっています。皆さんはこれから、変化の激しい時代を生きていかなければなりません。そのためには、一人一人が自分の個性や能力を十分に発揮し、その将来をたくましく切り拓いていかなければなりません。自己を確立して見失うことがないよう、生涯「学び」続けるという気概を忘れないでほしいと思います。

そこで、このような社会に挑戦していくみなさんに餞として中国の古典の一つ「大学」の八条目にある、流されない自己を確立する神髄が示されているというところを紹介します。「ものを正しく見れば知に到る。知に到れば意が誠（まこと）になる。意を誠（まこと）にすれば心が正しくなる。心が正しくなると行いも正しくなる。」

これは、当事者意識をもって物事に当たれば、自ずと知恵が湧き出てくる。それが人間の叡智である。叡智を極めていけば、おのずと自身の心に誠実になれる。心に誠実になれば、揺るぎない基軸ができる。心に基軸がある人は、自然と身も修まってくる。借り物の知識・理論に頼りすぎず、叡智を絞って考え抜くことが、自分の内面を鍛え、価値観の形成にも繋がっていくというものです。

今後、人生の壁に突き当たっては悩んだりすることがあるかもしれませんが。そういう時には、本校で学んだこと、厳しい試練を乗り切った経験をもとにして、失敗を恐れることなく挑戦し続けて欲しいと思います。

終わりにあたり、保護者の皆様には、この3年間、時には厳しく時には優しくお子様を励まし支えていただくとともに、本校の教育活動に絶大なご理解とご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。教職員一同は、これまで全力を傾注して指導に当たり、ともに学んでまいりました。ふるさとを愛し、千種を愛する前途有望な皆さんと過ごせたことに感謝しています。

それでは卒業生の皆さん、皆さんの揚々たる前途が健やかで幸多きことを心から祈念して式辞といたします。

平成 27 年 2 月 27 日

兵庫県立千種高等学校長 長森 順子

## (2) 在校生送辞

### 送 辞

冬の寒さもようやく和らぎ、春の訪れに心も躍る今日の良き日に、第四十回生の皆様、ご卒業おめでとうございませう。在校生を代表して心よりお祝ひ申し上げます。今、皆様は千種高校で過ごした三年間をどのように振り返っていらっしゃるのでしょうか。常に私たち後輩の前を歩き、リードして下さった先輩方は、私たちにかげがえのないものを残して下さいました。

なんといつても行事における先輩方の存在は大きかったです。文化祭のステージで、お揃いのTシャツで「決意の朝に」を歌う姿は輝いておられました。会場全体を包む歌声は私たちに感動を与えて下さいました。体育大会では最後まで諦めず、正々堂々と戦い、応援し、全員で喜びを分かち合う姿に先輩方の固い絆を感じました。どんな状況でも全力で挑む姿に鼓舞され、私たちも必死で競技に取り組み、最後には全員が全力を尽くしたことで、素晴らしい大会になりました。

日々の部活動においても先輩方は常に先頭に立ってリーダーシップを発揮して下さいました。ともに切磋琢磨するなかで鍛えられた精神力や忍耐力は、これからの人生で必ず生きてくることと思ひます。

私たちにとってそのような力強く頼もしい存在である一方で、先輩方は楽しく親しみやすい存在でもありました。普段の学校生活でも廊下ですれちがった時や、休み時間など、いろいろな場面で気さくに接して下さり、その度に温かい気持ちになりました。その元気で明るい姿は、学校全体の雰囲気盛り上げて下さっていました。

これから皆様は、ご自分の選ばれたそれぞれの道へと進んで行かれます。「意志あるところに道あり」。夢の実現を願う心と、夢を叶えるために努力を続けられる強い意志があれば、自分が信じる限り道が切り開かれる。どうか必ず、それぞれの道で輝き続けて下さい。最後になりますが、先輩方と出会い、ともに学校生活を送ることができた私たちはとても恵まれていました。本当にありがとうございました。

出会いは偶然ですが、別れは必然です。名残は尽きませんが、いよいよお別れの時がきました。明日からは、もう今までのように毎日顔をあわせることはありません。だからこそ、ここで過ごした思い出を胸に、この先の道を歩いて行って下さい。苦しいときにも隣には固い絆で結ばれた友人や、心強い先生方がおられたことを忘れないで下さい。最後に、新たな世界へ旅だつて行かれる先輩方が、夢の実現に向かって大きく飛躍されることを心からお祈りし、送辞といたします。

平成27年2月27日

兵庫県立千種高等学校  
在校生代表 森井鈴果

### (3) 卒業生答辞

#### 答 辞

日一日と暖かく、春の息吹を感じる今日この頃となりました。

このよき日、私たち卒業生三十二名は、新しい人生に向かって今大きく飛び立とうとしています。

今日は、私たちのために、このような素晴らしい卒業式を挙げていただき、ありがとうございます。また先程は、校長先生をはじめ、ご来賓の方々、在校生の皆さんから温かいお言葉を頂き、卒業生一同、心より感謝しています。

振り返ると三年前の春に、慣れないネクタイをぎこちなく結び、千種高校の制服に袖を通して、期待と不安を背負い入学しました。新しい友達との出会い。時に厳しく、けれど、それ以上に優しく面白い先輩との出会い。個性豊かな先生との出会い。苦しくも楽しい三年間の始まりでした。

一年生。入学早々、私たちは逃れたいようなテストが待ち構えていました。良かった人も、これからが不安になる人、様々でしたが、高校生活に胸を躍らせ、毎日を楽しみ過ごしていました。だんだん学校の雰囲気にも慣れ始めた頃、野外活動に行きました。このメンバーになっての初めての集団活動。一日目は、ライフセービングと遠泳でした。天候にも恵まれてもいい一日でした。海とはあまり触れ合う機会がないため、目の前に広がる白い砂と青い海を前に、皆浮かれ気味でした。泳ぐのが苦手な人も、そうでない人も自分の出来る限りで泳ぎ、自由時間では友達と楽しく遊び、充実した時間を過ごしました。しかし、ほとんどの人が日焼け止めを塗らずに、灼熱の太陽の下に居ましたので、背中が焼けるように痛みました。せっかくのお風呂も、ろくに浸かれず寝付くことが出来ませんでした。もとより、おとなしく寝るはずもありませんでしたけど。翌日は、クラスの団結が試される大山登山です。みんな心を一つに登頂を目指しました。登頂付近では霧がひどく、景色を拝むことは出来ませんでした。皆、達成感を強く感じ「頑張ること」「最後まで諦めない事」の大切さを、改めて分かった二日間でした。バスの中では疲れがピークだったのか、眠りにについている人が多くいましたが、その顔には満足げな笑顔でいっぱいでした。

二年生。二年生ながらも、クラスの団結で総合優勝をすることが出来た体育大会。行事ごとでは一段と張り切る私達ですが、この時は違いました。生徒同士でのすれ違い。それを話し合っている中での先生とのすれ違い。幾多の交錯があり、一度はバラバラになりかけどうなるかもわからない状態になりました。しかし、しっかりと話し合い分かり合うことで、一つの目標に皆で向かうことが出来ました。もう一つは、高校生活の最大のイベントでもある修学旅行です。私たちはグアムへ行きました。初めての海外。常夏の日。すべてが初めての経験で、良い思い出になりました。ホテルから見える海や、ゆっくりと過ぎる時間に心を奪われました。ホテルの前にあるプールでは、時間を忘れて遊びました。グアムといえばなんといっても海です。青く澄んだきれいな海でした。何度も乗ったことのあるバナナボートも、比べ物になりませんでした。修学旅行を通じて、一段とクラスが結束した気がします。

三年生。高校生活も最後の年になりました。今まで続けてきた部活動も集大成で、みんな最後まで今までの努力を出し切ろうと頑張りました。三年間、がむしゃらにやってこられたのも、最後までご指導いただき支えて頂いた監督や部長のおかげです。三年生にとっては何もかもが最後になり、体育祭や文化祭を最高の思い出にしようと思われ頑張りました。そしてこの年は、進路を決める年でもありました。私たちは、本当に進路を決められるのか。卒業をすることができるのか。最後まで心配でしたが、先生とのマンツーマンのご指導を頂いたり、遅くまで補習をしていただくなど、多くの先生に協力していただき、無事目標を達成することが出来ました。

本当に、多くの先生方や事務の方々にお世話になりました。今日まで、充実した高校生活を送れたのも皆様のおかげです。本当にありがとうございました。少人数規模の学校ではありませんでしたが、その分、多くの時間を一緒に過ごさせていただきました。相談にのって頂いたり、おなかを抱えて笑い合ったり、いつも学校に行くのを楽しみにしていました。それも、今日で最後だと思うととても寂しいです。

特に三年間、ずっとそばにいて下さった照本先生。松井先生。最後まで迷惑をかけてごめんなさい。私たちは三年間で成長することは出来ましたか。何度も正面からぶつかって、何

度も話し合いをしてい頂きました。当時は、社会を知らずあまり関心をも持たなかった話もありましたが、今思えばたくさんの糧を頂きました。これから私たちは、今までよりも厳しい社会に、一人で立ち向かわなければなりません。時には敗れて、ここへ帰ってくるかもしれませんが、しかし、今まで教えて頂いたたくさんの事を胸に頑張ります。

在校生の皆さん。私たちは先輩として、何かを教えることが出来ましたか。いまこの瞬間から、この学校を皆さんの手で作り上げて下さい。今よりもっと良い学校を。皆さんらしい学校を、作ってください。この学校で過ごせる三年間は本当に短いです。上手く行かず、腹が立つことがあるかもしれませんが。先生の話が理解できないかもしれません。今はそれでも大丈夫です。しかし、これだけは覚えておいて下さい。先生は、私たちの事を一番に考えて下さっています。皆さんなら大丈夫だと信じています。

三年間を思い返すと、何よりクラス全員で笑い合い過ごしてきた、何でもない時間が一番大好きでした。何をしても楽しく、このまま皆と過ごしていきたいのですが、そうもいきません。皆、それぞれの人生を歩んでいきます。壁にぶつかりくじけそうになるかもしれませんが。そんな時は、皆で笑い合った日々を思い出して下さい。でこぼこ道の三年間でしたが、それでもここまでやってこられました。なので大丈夫です。自信をもって頑張らしましょう。皆と過ごした日々を、絶対に忘れません。

伝えきれないほどの「ありがとう」がありますが、今一番伝えたいのは、ここまで大きく立派に育ててくれた、お父さんお母さんです。いつも、朝早くからお弁当を作ってくれてありがとう。何事もなく、学校に通わせてくれてありがとう。時には強くあたったり、言うことを聞かない時もあったけど、見捨てずに支えてくれてありがとう。もっともっとありますが、伝えきれません。でも、これだけは言っておきます。お父さんとお母さんの子供で良かった。私たちが産んでくれてありがとう。これからも、心配や迷惑をかけると思います。情けない姿を見せると思います。でも見ていて下さい。必ずお父さんやお母さんの様な立派な大人になります。いつか、私たちが恩返しをできるその日まで、どうかお願いします。見守っていて下さい。

私たちは、これから前も後ろも分からない社会に飛び込みます。上手く行かないことの方が多いでしょう。しかし、この学校で学んだ全ての事を忘れず、夢に向かって頑張っていくきます。

今まで支えて頂いたたくさんの方々、そして、かけがえのない三十二名の親友。本当にありがとうございます。これからは一人です。今まで支え合って、やってこられた仲間は今もう隣にはいません。でも、大切に何よりも力になる思い出を胸に飛び立ちましょう。一步を踏み出せば、必ず未来につながっています。自分を信じて一歩ずつ歩いていきましょう。

僕たちは必ず大きくなり、胸を張ってここへ帰ってきます。それまで待っていて下さい。三年間ありがとうございます。

平成 27 年 2 月 27 日

卒業生代表 秋久 侑太



# Ⅶ 平成26年度学校評価

総務部

## 平成26年度 学校評価 関係者評価票

学校名 兵庫県立千種高等学校

### 1 学校教育目標

夢をかたちにする進路指導のより一層の充実をはじめ、生徒・保護者の本校に対する満足度をこれまで以上に高める態、特色と魅力に富んだ教育を推進する。

### 2 重点目標

- ①地域・保護者に期待され、信頼される学校づくりを推進する。
- ②誰かが学力・豊かな人間性に向けて努力する生徒を育成する。
- ③教師は生徒に夢と目標を与えられるよう熱く指導し、また自らの実践能力の向上に努める。
- ④互いを認め合う「互ま」人間関係を築き、安心・安全な学校環境を構築する。

### 3 自己評価結果（5段階評価：「5」が最もできている、「1」はできていない）

### 4 自己評価の裏面方法についての学校関係者評価

地域が学校に求めることは、①豊かな人間性の育成、②安全・安心な学校環境、③誰かが学力・豊かな人間性に向けて努力する生徒を育成すること、自己評価していることは妥当である。その評価に当たり、生徒・保護者・進路指導員などから、その結果を聴き、その結果を踏まえた上で、自己評価していることは妥当である。また評価を基盤化しているのは分かりやすい。今後は年度当初にも学校関係者との意見交換を行い、教育目標や学校評価の意義などの説明をしてあげれば、より建設的な議論が可能になる。

### 5 総合的な学校関係者評価

自己評価、今後の改善策は概ね適切であるので、下記の改善策は実践されることを期待したい。そうすることによって、個に応じた指導を充実させるなど、全国一小さな学校の特色と魅力とさらに伸ばしてほしい。進路指導などこれまでに定着している指導等、学力向上を軸として、部活動や生活指導などこれ以上に連携教育の発展・充実を旨として、中高はもとより小学校やこども園等さらには地域社会とも連携を図り、各種の取組や活動を推進して欲しい。

実践目標	実践項目	26年度 評価	26年度 平均(7月)	前年	一昨年	課題・改善策等	自己評価、改善策の適切さに関する学校関係者評価
1	ホームベームへの充実・改善を図り、学校の様子を随時発信する。	4.4	3.9	4.5	4.6	ホームベームへのリニューアルと積極的な更新によりアクセス数は増えた。部活の様子をもっと充実させる必要がある。動画はIPする。更新の負担が偏らないよう、職員研修を実施する。	千種町小中高ふれあい文化祭で高校生演じた小中学生向けの情報モラル啓発劇は、優れた取り組みで、今後も続けたい。また、千種町以外の兵衛の中学生にも見せたい内容だ。千種町内では学校の良さがPRで来ているので、今後は町外への発信にも工夫するべき。
2	地域・保護者に期待され、信頼される学校づくりを推進する。	4.2	3.5	4.1	4.1	11月のオープンスクールの内容を工夫して、来校者を増やす。文化祭、連携マラソン大会は多数の来校者、応援があり、地域の本校に対する関心は高い。地域連携訪問訓練を継続する。行事ごとに来校者にアンケートを実施する。さらに授業をオープンにするなど、本校が地域交流の場となる工夫を模索していく。	・保幼小中高連携一貫教育により、千種町内では学校の良さがPRで来ているので、今後は町外への発信にも工夫するべき。 ・前向きに取り組まれていると思う。先生方の熱意を感じる。 ・「千高街の駅」で高校生が商店街の活性化に貢献できている。 ・高年齢化の進む学校周辺地域では、ネットの活用状況は必ずしも高くはないことが考えられる。更に地域に理解される学校を目指すには、宋栗市の広報紙や「たんぽぽ」(有線放送)、ラジオ、テレビなどのマスメディアを活用することも重要である。
3	地域・保護者に期待され、信頼される魅力ある学校づくりを推進する。	4.5	3.8	4.4	4.8	生徒が地域と関わる機会を増やして、地域社会の発展を創出する。生徒が地域と関わる機会を増やしていく。秋のふれあいフェスタその他の行事にボランティア部が参加する。	・「千高街の駅」で高校生が商店街の活性化に貢献できている。 ・高年齢化の進む学校周辺地域では、ネットの活用状況は必ずしも高くはないことが考えられる。更に地域に理解される学校を目指すには、宋栗市の広報紙や「たんぽぽ」(有線放送)、ラジオ、テレビなどのマスメディアを活用することも重要である。
4	千種中学校区の見学・生徒との交流を深め、「行きたい高校」を選択できるように支援する。	4.1	3.5	4.2	4.1	理科、英語等連携授業を行った。その他の教科も、働きかけの機会を中学校のみならず、小学校に知しても増やしていく。部活動の連携など生徒同士が触れ合う場面も重要。	・「千高街の駅」で高校生が商店街の活性化に貢献できている。 ・高年齢化の進む学校周辺地域では、ネットの活用状況は必ずしも高くはないことが考えられる。更に地域に理解される学校を目指すには、宋栗市の広報紙や「たんぽぽ」(有線放送)、ラジオ、テレビなどのマスメディアを活用することも重要である。
※	千種町小中高連携一貫教育推進事業との連携を深め、まちづくり活動を推進する。	3.9	3.4	*	*	高校版「家庭学習の手引き」が完成したので、内容を徹底して生徒の家庭学習を推進する。生活副読本には高学年もあるので、学習系統表にも加える。「千高街の駅」をうまく運用する。	・豊かな人間性の育成に力を入れ、挨拶の指導等に力を入れてほしい。 ・登下校時のあいさつは、学校園を基盤に、地域をあげてさらなる啓発が必要である。 ・挨拶ができていない生徒の原因はスマホ依存や親の送迎等、家庭のしつけの問題でもあるのではないかと。 ・望ましい基本的生活習慣の確立には家庭との連携を促すため、「生活調査」をきっかけとして改善を促す。 ・部活動は生徒数が少ないので3年の引退後は寂しくなるのはやむを得ないのではないかと。他校との合同チームも検討するべき。 ・先生方は生徒の希望を実現するため、熱心に指導されている。 ・個人競技の部活動を作ってほしい。美術部、書道部等の文化部の充実を。 ・校外での部活動は保護者の協力を得る。 ・「生徒の発表の機会を増やす」とあるのは必要なことであり、今後さらに発表の場を増やして欲しい。 ・部活動は、小中高連携して育成強化できる仕組みを考えたことができればいい。 ・部活動の兼部を認めたい大会に参加できるようにしてほしい。
※	行事や授業を通じて「進路型中高一貫教育校」の定着、発展を図る。	4.1	3.7	*	*	授業など行事以外の連携一貫教育を充実させる。小中の先生も高校のオープンスクールのきてもらいたい。	・豊かな人間性の育成に力を入れ、挨拶の指導等に力を入れてほしい。 ・登下校時のあいさつは、学校園を基盤に、地域をあげてさらなる啓発が必要である。 ・挨拶ができていない生徒の原因はスマホ依存や親の送迎等、家庭のしつけの問題でもあるのではないかと。 ・望ましい基本的生活習慣の確立には家庭との連携を促すため、「生活調査」をきっかけとして改善を促す。 ・部活動は生徒数が少ないので3年の引退後は寂しくなるのはやむを得ないのではないかと。他校との合同チームも検討するべき。 ・先生方は生徒の希望を実現するため、熱心に指導されている。 ・個人競技の部活動を作ってほしい。美術部、書道部等の文化部の充実を。 ・校外での部活動は保護者の協力を得る。 ・「生徒の発表の機会を増やす」とあるのは必要なことであり、今後さらに発表の場を増やして欲しい。 ・部活動は、小中高連携して育成強化できる仕組みを考えたことができればいい。 ・部活動の兼部を認めたい大会に参加できるようにしてほしい。
5	挨拶の励行等基本的な生活習慣および品格ある自覚した行動の確立に努めさせる。	3.8	4.0	4.0	4.6	挨拶の励行等基本的な生活習慣および品格ある自覚した行動の確立に努めさせる。	・豊かな人間性の育成に力を入れ、挨拶の指導等に力を入れてほしい。 ・登下校時のあいさつは、学校園を基盤に、地域をあげてさらなる啓発が必要である。 ・挨拶ができていない生徒の原因はスマホ依存や親の送迎等、家庭のしつけの問題でもあるのではないかと。 ・望ましい基本的生活習慣の確立には家庭との連携を促すため、「生活調査」をきっかけとして改善を促す。 ・部活動は生徒数が少ないので3年の引退後は寂しくなるのはやむを得ないのではないかと。他校との合同チームも検討するべき。 ・先生方は生徒の希望を実現するため、熱心に指導されている。 ・個人競技の部活動を作ってほしい。美術部、書道部等の文化部の充実を。 ・校外での部活動は保護者の協力を得る。 ・「生徒の発表の機会を増やす」とあるのは必要なことであり、今後さらに発表の場を増やして欲しい。 ・部活動は、小中高連携して育成強化できる仕組みを考えたことができればいい。 ・部活動の兼部を認めたい大会に参加できるようにしてほしい。
6	インプロ学習・教科指導を通して、生徒が自己の意見を論理的に明確に表現できるよう指導に努める。	3.8	3.5	3.3	3.8	インプロ学習、就業体験等については、生徒自らが体験し、学びたいことを全校集会等、自ら発表する機会を増やす。インプロの成果を活かし、ふれあい文化祭で啓発劇「インターネットの脅しと穴」を成功させた。ピリオリオバトル、ディベート等もやってみてほしい。	・豊かな人間性の育成に力を入れ、挨拶の指導等に力を入れてほしい。 ・登下校時のあいさつは、学校園を基盤に、地域をあげてさらなる啓発が必要である。 ・挨拶ができていない生徒の原因はスマホ依存や親の送迎等、家庭のしつけの問題でもあるのではないかと。 ・望ましい基本的生活習慣の確立には家庭との連携を促すため、「生活調査」をきっかけとして改善を促す。 ・部活動は生徒数が少ないので3年の引退後は寂しくなるのはやむを得ないのではないかと。他校との合同チームも検討するべき。 ・先生方は生徒の希望を実現するため、熱心に指導されている。 ・個人競技の部活動を作ってほしい。美術部、書道部等の文化部の充実を。 ・校外での部活動は保護者の協力を得る。 ・「生徒の発表の機会を増やす」とあるのは必要なことであり、今後さらに発表の場を増やして欲しい。 ・部活動は、小中高連携して育成強化できる仕組みを考えたことができればいい。 ・部活動の兼部を認めたい大会に参加できるようにしてほしい。
7	誰かたが学力・豊かな人間性を目指して努力する生徒を育成する。	4.1	3.8	4.1	4.3	生徒が自主的に考え、行動する体験的・主体的活動を多く取り入れ、生徒の自己有用感を高める。	・豊かな人間性の育成に力を入れ、挨拶の指導等に力を入れてほしい。 ・登下校時のあいさつは、学校園を基盤に、地域をあげてさらなる啓発が必要である。 ・挨拶ができていない生徒の原因はスマホ依存や親の送迎等、家庭のしつけの問題でもあるのではないかと。 ・望ましい基本的生活習慣の確立には家庭との連携を促すため、「生活調査」をきっかけとして改善を促す。 ・部活動は生徒数が少ないので3年の引退後は寂しくなるのはやむを得ないのではないかと。他校との合同チームも検討するべき。 ・先生方は生徒の希望を実現するため、熱心に指導されている。 ・個人競技の部活動を作ってほしい。美術部、書道部等の文化部の充実を。 ・校外での部活動は保護者の協力を得る。 ・「生徒の発表の機会を増やす」とあるのは必要なことであり、今後さらに発表の場を増やして欲しい。 ・部活動は、小中高連携して育成強化できる仕組みを考えたことができればいい。 ・部活動の兼部を認めたい大会に参加できるようにしてほしい。
8	部活動、委員会活動への参加を積極的推進し、充実した高校生活を支える。	3.6	3.8	3.9	4.1	部活動が盛況になりつつある。生徒数を考慮し、部活動の数を減らすか、外部コーチの導入の可能性について検討する必要がある。放課後の会議の数を減らす。補習このべランスをとることが必要。全職員によるサポートが必要。部活動の整理も必要。	・豊かな人間性の育成に力を入れ、挨拶の指導等に力を入れてほしい。 ・登下校時のあいさつは、学校園を基盤に、地域をあげてさらなる啓発が必要である。 ・挨拶ができていない生徒の原因はスマホ依存や親の送迎等、家庭のしつけの問題でもあるのではないかと。 ・望ましい基本的生活習慣の確立には家庭との連携を促すため、「生活調査」をきっかけとして改善を促す。 ・部活動は生徒数が少ないので3年の引退後は寂しくなるのはやむを得ないのではないかと。他校との合同チームも検討するべき。 ・先生方は生徒の希望を実現するため、熱心に指導されている。 ・個人競技の部活動を作ってほしい。美術部、書道部等の文化部の充実を。 ・校外での部活動は保護者の協力を得る。 ・「生徒の発表の機会を増やす」とあるのは必要なことであり、今後さらに発表の場を増やして欲しい。 ・部活動は、小中高連携して育成強化できる仕組みを考えたことができればいい。 ・部活動の兼部を認めたい大会に参加できるようにしてほしい。
9	山県や福井等を通じて、主体的な道徳実践能力の育成を図る。	4.0	3.8	3.9	3.8	生徒がどのような人生を歩みたいか、そのために必要な知識・技能は何かを考えた。具体的な目標に指導していく努力を怠らぬよう努める。面談を実施する。進路指導室を生徒に開放してはどうか。	・豊かな人間性の育成に力を入れ、挨拶の指導等に力を入れてほしい。 ・登下校時のあいさつは、学校園を基盤に、地域をあげてさらなる啓発が必要である。 ・挨拶ができていない生徒の原因はスマホ依存や親の送迎等、家庭のしつけの問題でもあるのではないかと。 ・望ましい基本的生活習慣の確立には家庭との連携を促すため、「生活調査」をきっかけとして改善を促す。 ・部活動は生徒数が少ないので3年の引退後は寂しくなるのはやむを得ないのではないかと。他校との合同チームも検討するべき。 ・先生方は生徒の希望を実現するため、熱心に指導されている。 ・個人競技の部活動を作ってほしい。美術部、書道部等の文化部の充実を。 ・校外での部活動は保護者の協力を得る。 ・「生徒の発表の機会を増やす」とあるのは必要なことであり、今後さらに発表の場を増やして欲しい。 ・部活動は、小中高連携して育成強化できる仕組みを考えたことができればいい。 ・部活動の兼部を認めたい大会に参加できるようにしてほしい。
※	身体的な活動を通して、心身を鍛錬し、将来の社会生活でたくましく生きる体力・精神力を養う。	4.1	3.7	*	*	身体的な活動の成功を目指して努力を積み重ね、達成感を得られるよう指導する。	・豊かな人間性の育成に力を入れ、挨拶の指導等に力を入れてほしい。 ・登下校時のあいさつは、学校園を基盤に、地域をあげてさらなる啓発が必要である。 ・挨拶ができていない生徒の原因はスマホ依存や親の送迎等、家庭のしつけの問題でもあるのではないかと。 ・望ましい基本的生活習慣の確立には家庭との連携を促すため、「生活調査」をきっかけとして改善を促す。 ・部活動は生徒数が少ないので3年の引退後は寂しくなるのはやむを得ないのではないかと。他校との合同チームも検討するべき。 ・先生方は生徒の希望を実現するため、熱心に指導されている。 ・個人競技の部活動を作ってほしい。美術部、書道部等の文化部の充実を。 ・校外での部活動は保護者の協力を得る。 ・「生徒の発表の機会を増やす」とあるのは必要なことであり、今後さらに発表の場を増やして欲しい。 ・部活動は、小中高連携して育成強化できる仕組みを考えたことができればいい。 ・部活動の兼部を認めたい大会に参加できるようにしてほしい。

実施目標	実施項目	26年度 評価	26年度中 間(7月)	昨年	一昨年	課題・改善策等	自己評価、改善策の適切さに関する学校関係者評価
10	各教科において、授業研究など学習指導について工夫・改善がなされている。	4.1	3.6	4.0	3.4	教科の内容を充実させるために、わかる授業のあり方について多方面から考察していく。持ち時間の偏りをなくす。英語の小中高の研究会を他教科でも実施する。	・個に応じた学習指導、進路指導の努力は素晴らし い。 ・少人数の良さが生かされている。 ・各教科の学力向上を目指した、実のある小・中・高の連携が課題である。 ・「公開授業週間」を実施し他教科の授業を参観し意見交換を行い授業改善を進める取り組みを継続させることが大切だ。
11	教科の枠を超えた授業の公開や研修会によって相互に研鑽する。	3.7	3.0	3.7	2.7	学期毎に授業公開週間、研究授業を実施し、実施後に意見交換する機会を義務づける。研修会を計画的に実施する。	
12	地域の人材や素材を活用した特色ある授業の取り組みを行う。	3.9	3.1	3.7	3.9	千種中学校が実施する「千種学」を参考に、これまでの固定化された内容に留まらず新たな分野を開拓し、新たな特色づくりに取り組む。	
13	教職員は生徒に夢と自信を与えられるよう粘り強く指導し、また自らの資質能力の向上に努める。	4.4	4.1	4.3	4.1	ベネッセ、アクティビコユースの授業では授業者のみならず、生徒のそばで授業理解を支援する補助教員のさらなる確保が必要である。チャレンジはさらに学力アップを。教員数を確保する。	・家庭学習を習慣化できないう生徒が多くいることについて、小中学生に配布されている「家庭学習の手引き」の高校版を作成したのであれば、それを生徒に徹底していく必要がある。
14	課題や宿題の指導を通して、家庭学習の習慣化を図る。	3.4	3.2	3.5	3.1	連携一貫の取り組みの「家庭学習調査」を取り入れる。週末課題等の実施点検や、日々の課題を出して家庭学習の習慣化を図る。教科書の持ち帰りを徹底する。朝学習の時間を設けては、	
15	基礎学力の定着や資格取得のための補習を実施する。	4.2	3.6	4.4	4.0	自己の将来のために基礎学力や資格がいかに必要であるかということを理解させ、やらされるのではなく、自ら進んで取り組む意識を高揚させる。	・全家庭訪問をして保護者との意思疎通を図ることは大切で、有意義である。 ・進路選択では「3年間を見通した計画的な指導体制」のもと、生徒と保護者、担任と面談を教多く実行してもらいたい。
16	家庭連絡や家庭訪問を通して、保護者との情報交換や意思の疎通を図る。	3.9	3.8	4.0	4.0	全家庭を家庭訪問する他、夏休業中の面談以外にも担任と保護者が面談する機会を増やす。3年間を見通した計画的な指導体制を確立する。	
17	生徒の進路希望を達成するために、情報の収集や提供を行い、適切な進路指導を行う。	4.4	3.6	4.1	4.2	進路指導科と学年との連携を密にして進路1000の年間計画を策定し、実施する。また進路検討会(進学・就職)の機会を増やす。国公立の推薦指導が弱い。研修会が必要。	
18	マナーや規律、規範意識を高める取組を、ホームルーム、生徒会活動等で行う。	3.9	3.5	3.9	3.9	生徒指導部中心に、全教職員の共通理解のもと、全教職員で指導する。その中で、情報モラル向上の取り組みでは生徒会が活躍し効果を挙げた。人権ホームルームも活用する。	・生徒のマナーや規律が確立されている。学校環境もよく整備されている。 ・生徒の素行が良くなっている。挨拶をはじめ、逢って挨拶が良くなる。 ・社会に出て通用するような人間関係を生徒が高校時代に築けるよう教員は支援してほしい。 ・携帯電話、スマートフォン等の危険性について、関係機関と連携し、定期的に意識付けをするべきである。生徒会も巻き込んで情報モラルの向上に取り組みたいことは大いに評価できる。 ・「カウんセリング」を1学年の全生徒に体験させる」とあるが、これは是非継続してもらいたい。ただし、カウんセリングを受けた生徒を個々に特定できない配慮をお願いしたい。
19	生徒一人ひとりの役割や居場所を、クラスの中や様々な教育活動の場において設定する。	3.9	3.9	4.0	3.8	ホームルーム選出の委員に活動の場をこれまでに与える。部活動の全入をさらに進める。	
20	生徒の個人面談や、日頃の声かけ指導を積極的に行う。	4.0	3.8	4.0	3.8	1・2学期の個人面談を定例化する。効果的な声かけ、思いが伝わる声かけの在り方について、研修を行う。	
21	防災教育や安全教育を、学校全体はもとよりホームルームで行う。	3.6	2.9	4.3	3.7	ホームルーム計画作成時に防災教育の計画を盛り込む。全教職員が防災、安全教育を意識して指導する。地域連携防災訓練を継続して実施する。	
22	人権に関わる課題を知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に努める。	3.4	3.1	3.7	3.7	学期ごとに生徒参加型の人権LHRを充実させる。分かりやすい人権講演会を実施する。公開授業や研修会も必要。	・防災教育、安全教育は学校内のみで取り組む問題ではなく、地域と連携した取り組みを継続して欲しい。
23	教育活動全般に通じて、情報の活用に伴う情報モラルの育成に努める。	4.1	3.3	4.4	3.6	生徒会中心の情報モラル向上の取り組みを継続していく。他者の人権侵害をゼロにする。生徒の生活改善や家庭学習の充実にもつなげる取り組みを進める。	
24	キャンパスカウんセラーと連携を密に取り、悩みを抱える生徒の支援体制を作る。	4.4	3.7	4.3	4.3	カウんセラーの指導内容を必要部署にて共有する。生徒が相談しやすい環境づくりの一環として、今後も年度当初にカウんセリングを1学年全生徒に体験させる。	

Ⅶ 平成26年度 年間実施行事

総務部

平成26年度 県立千種高等学校 年間実施行事

\* = 校長出張予定

No.1

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 火	辞令交付・職員会議	1 木	全校集会	1 日	全校集会 3年進路ガイダンス(5/6日) キャンパスカクシセリング	1 火	前期学生修習準備会・本校にて午後から	1 金	AM貯水槽清掃(半日断水)	1 月	大掃除・給食式・運動会イバー(児童学習準備委員会) 「本の上記事項から発生するまでに」
2 水		2 金		2 月		2 水		2 土		2 火	課題考査
3 木		3 土	(憲法記念日)	3 火	中高連携環境美化活動	3 木	期末考査①	3 日	(千種川水通一斉調査 13:00~14:00)	3 水	
4 金	合格者登校日	4 日	(ひどりの日)	4 水	職員会議	4 金	期末考査②	4 月		4 木	
5 土		5 月	(こどもの日)	5 木		5 土		5 火	3年中期補習①(ホール前合宿(千種CC)) 千種川(千種川水通)合同清掃会・運動会	5 金	企業へ心算書類提出開始
6 日		6 火	振替休日	6 金	基礎学力到達度テスト①・英検1次	6 日		6 水	3年中期補習② 2年アチアチ(残島交流)	6 土	
7 月	職員会議	7 水	職員会議	7 土	3年模試	7 月	期中考査③ キャンパスカクシセリング	7 木	3年中期補習③	7 日	
8 火	着任式・始業式・入学式	8 木	PTA専門委員会	8 日	看護模試・公務員試験	8 火	期末考査④	8 金	3年中期補習④ 4期職員研修(職員会 休・5期職員)	8 月	キャンパスカクシセリング
9 水	期中考査・身体測定・別形式・部活動紹介	9 金	* 連携実行委員会	9 月	キャンパスカクシセリング	9 水	3・4限全年進路ガイダンス	9 土		9 火	*
10 木	(心電図・X線・職員研修)・PTA開講	10 土		10 火	* 県卸し連絡会	10 木		10 日		10 水	職員会議
11 金	離任式・清流会	11 日		11 水		11 金	漢字検定	11 月		11 木	* pm
12 土		12 月	キャンパ 対抗レリナ	12 木		12 土	日本卸しプロ検定 情報処理技術者 全学年模試	12 火	PM消防設備点検	12 金	*
13 日		13 火		13 金	文化祭準備・リハーサル	13 日	簿記能力検定 公務員模試	13 水		13 土	
14 月		14 水		14 土	文化祭(午後連携)オープンスクール	14 月	期中考査⑤ 職員会議 キャンパスカクシセリング	14 木		14 日	中学校運動会
15 火	内科検診	15 木	中間考査①	15 日		15 火	生徒会役員信任	15 金		15 月	(敬老の日)
16 水	生検検診 歯科検診 眼科検診(1次)	16 金	中間考査②	16 月	振替休業日	16 水	1年野外活動①	16 土		16 日	企業選考開始
17 木		17 土		17 火		17 木	1年野外活動②	17 日		17 水	
18 金	PTA新旧役員引継ぎ会	18 日		18 水		18 金	終業式・合同職員会議	18 月	インスパイアバレーボール教室	18 木	連携実行委員会
19 土		19 月	中間考査③・中高合同職員会議 2年アチアチ	19 木	連携実行委員会・救急救命研修	19 土	小論文模試	19 火	インスパイアサッカー教室 A区区長臨場(休日授業)	19 金	
20 日	PTA参観・総会	20 火	中間考査④	20 金	*	20 日		20 水	就職者校内選考	20 土	3年模試
21 月	振替休業日	21 水	*	21 土	数学検定	21 月	(海の日)	21 木	連携実行委員会 千学田講義会	21 日	幼・小学校運動会
22 火	連携実行委員会	22 木	*	22 日		22 火	前期補習①	22 金	インスパイアゴルフ教室 (10:30~12:00)	22 月	合同職員会議 キャンパスカクシセリング
23 水	眼科検診・合同職員会議	23 金	合同職員会議	23 月	インプロ3 キャンパスカクシセリング	23 水	前期補習② 学校評議員会 教生委員会	23 土		23 日	(秋分の日)
24 木	耳鼻科検診 千種町連携総会	24 土		24 火		24 木	前期補習③	24 日		24 水	基礎学力到達度テスト②
25 金		25 日	簿記能力検定	25 水		25 金	前期補習④	25 月	後期補習①・中学生補習	25 木	
26 土		26 月	インプロ2 キンパ 対抗レリナ	26 木		26 土	妙見夏祭	26 火	後期補習②・中学生補習	26 金	
27 日		27 火		27 金	合同職員会議	27 日		27 水	後期補習③・中学生補習	27 土	保存運動会 看護医業模試・小論文模試
28 月	インプロ1 校園長会	28 水		28 土	全学年模試	28 月	キャンパスカクシセリング (職員研修会予定)	28 木	後期補習④	28 日	
29 火	(昭和の日)	29 木		29 日	ビジネス文書検定	29 火		29 金	職員会議	29 月	平日模試・中高自習体育 キャンパスカクシセリング
30 水		30 金		30 月	インプロ4 キャンパスカクシセリング	30 水		30 土		30 日	体育大会[午後連携]
31 日		31 土		31 木		31 日	オープンハイスクール 中高連携部活動発表				
		全生徒家庭訪問(全学年)		1年生カウンセリング体験(4月末~7月上旬)・体験者集会( 月)							

平成26年度 県立千種高等学校 年間実施行事

\* = 校長出張予定

No.2

10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
1	水	1	土	1	月	1	木	1	日	1	日
	体育大会予備日		2年進研模試		インプロ		キャンパスカウンセリング		(元日)		
2	木	2	日	2	火	2	金	2	月	2	月
	全校集会		保幼小中高ふれあい文化祭				合同職員会議		合同職員会議		学年末考査①
3	金	3	月	3	水	3	土	3	火	3	火
			(文化の日)						成績締切 (小学校スキー教室)		学年末考査②
4	土	4	火	4	木	4	日	4	水	4	水
			振替休業日						卒業認定会議		学年末考査③
5	日	5	水	5	金	5	月	5	木	5	木
			全校集会 職員会議				基礎学力到達度テスト③		卒業認定会議 (卒業生大会)		学年末考査④ (通称ガイダンス)
6	月	6	木	6	土	6	火	6	金	6	金
	* インプロ		キャンパスカウンセリング		*				職員会議 (通称入試勉強会)		3・4限 (ライゼンスタカワミ)
7	火	7	金	7	日	7	水	7	土	7	土
							3年補習 校運14:00・職員会		ビジネス文書検定		巨人一貫大会 学校評議員会 15:30
8	水	8	土	8	月	8	木	8	日	8	日
	6限ネット利用ワークショップ 職員会議		1・3年模試				期末考査①		始業式		
9	木	9	日	9	火	9	金	9	月	9	月
							期末考査②		課題考査		通認考査① (小学校スキー教室)
10	金	10	月	10	水	10	土	10	火	10	火
	生活調査配布・英検1次		修学旅行・結団式				期末考査③ 連携実行委員会				通認考査②・追認定会議・職員会議
11	土	11	火	11	木	11	日	11	水	11	水
			(~14日)グアム島				期末考査④				3.11追悼 (45分×3) + 大掃除
12	日	12	水	12	金	12	月	12	木	12	木
							心のサポート研究発表会 (10:00~11:30)				体幹部長学校交流 (5くき高部)
13	月	13	木	13	土	13	火	13	金	13	金
	(体育の日)										入試前の準備 15:00完全下校
14	火	14	金	14	日	14	水	14	土	14	土
							日本野ワープロ検定 情報処理技能検定				連携型入学者選抜
15	水	15	土	15	月	15	木	15	日	15	日
	後期生徒会専門委員会						(以後午前中授業) キャンパスカウンセリング				2年級読書検定 日本野ワープロ検定 情報処理技能検定
16	木	16	日	16	火	16	金	16	月	16	月
	連携実行委員会						校外通称ガイダンス (1年チャレンジ)				玉置山出陣授業5・6限 予備監査 (通称11.17通称行事)
17	金	17	月	17	水	17	土	17	火	17	火
	修学旅行保護者説明会 19:00 余議室		インプロ				成績締切				センター試験① 数学検定
18	土	18	火	18	木	18	日	18	水	18	水
	3年模試		兵庫県議会文教委員会 管内調査								センター試験②
19	日	19	水	19	金	19	月	19	木	19	木
							成績会議・職員会議				連携型合格者発表 14:00~15:00
20	月	20	木	20	土	20	火	20	金	20	金
	中間考査① キャンパスカウンセリング						センター試験後検討会				連携型合格者発表 14:00~15:00
21	火	21	金	21	日	21	水	21	土	21	土
	中間考査②						アクティブガイダンス 集訓指導				教科書販売
22	水	22	土	22	月	22	木	22	日	22	日
	中間考査③						学校保健委員会				
23	木	23	日	23	火	23	金	23	月	23	月
	中間考査④・芝生化事業		簿記能力検定				英検1次				キャンパスカウンセリング
24	金	24	月	24	水	24	土	24	火	24	火
	* 連携部活動体験		もみじ祭り				1・2年模試				3年生登校日
25	土	25	火	25	木	25	日	25	水	25	水
	看護医療模試		連携実行委員会				補習②				表彰伝達式・予行
26	日	26	水	26	金	26	月	26	木	26	木
	ちくさふれあいフェスタ		オープンセミナー (公開授業時間)				補習③ (仕事納め)				第40回卒業証書授与式
27	月	27	木	27	土	27	火	27	金	27	金
	インプロ キャンパスカウンセリング						卒業考査②				第40回卒業証書授与式
28	火	28	金	28	日	28	水	28	土	28	土
			合同職員会議				卒業考査③				スマホコミット in ひょうご 発表
29	水	29	土	29	月	29	木	29	金	29	日
	修学旅行前準備相談 (2学年) 13:00						卒業考査④ 1年制アタプガイダンス (1日)				(3月1日まで)
30	木	30	日	30	火	30	水	30	土	30	月
	2年アタプガイブ						3年模試 1年制アタプガイダンス (2日)				
31	金	31	月	31	水	31	土	31	日	31	火
	まどか園太鼓										

## Ⅸ 平成26年度 広報活動

総務部

### 1 「千高だより」の発行について

#### (1) 「千高だより」の特徴

本校の広報紙「千高だより」の特徴は、そのカラフルさにある。町内の小学生からお年寄りまで、幅の広い年齢層の方々に親しみを持って読んでいただけるように、文章の量を抑えて写真を多用し、必要に応じてイラストも取り入れている。手に取りやすいようにA4判の美しい白上質紙を用いているのも自慢のポイントである。

#### (2) 発行回数と発行部数

平成26年度は、速報性を大事にしようとして毎月2回の発行回数を旨とした。3月末版は「第23号」となっている。ちなみに、平成24年度は13号までの発行であったので、大幅な増加と言えよう。また、毎回の発行部数は約800。町内の各学校園には全生徒及び全教職員分、宍粟市内の各中学校には各校10部、西播磨管内の各中学校には5部ずつ、千種町内の主な施設及び営業所等にも各10部を配布して回っている。

長森校長は、県教委及び光都の西播磨教育振興室に行かれるたびに「千高だより」を持参されており、事務局の先生方にも楽しみにしていただいている。次項のHP運営も、勿論時代の流れの中にあって重要ではあるが、依然として「紙媒体」が学校現場の情報発信の上で非常に重要な役割を担っているのである。

### 2 「HP」の運営について

#### (1) 「千種高校HP」の特徴

##### ① 「千種高校ブログ」で生徒の様子を日々発信

千種高校生が今どんなことをしているのかということ、できるだけ回数多く写真入りで伝え、遠くにおられる卒業生や不特定多数の千種高校応援団の方々にお伝えするように日々記事を執筆し、更新している。

##### ② 「英文版ブログ」を開設

平成25年5月、本校HP内に「英文ページ（英文版ブログ）」を開設し、本校における日常の教育活動や千種町の歴史・文化・自然等について広く海外に発信するということを試みてきた。「English」という項目を持ち、学校要覧の英訳をHP上に掲載している学校は多い。しかし、その英語は10年経っても変わらず、意欲的に日々の活動を英語で発信している例はほとんどない。これは、英語教育における実験という意味合いもあり、近い将来生徒の英語作品（エッセイ、英語俳句、英詩等）の発表の場としても活用できるという可能性を秘めている。それを世に問うているのである。

##### ③ 「Leaflet & Booklet」・「新聞掲載記事」等、豊富な資料コーナー

本校でこれまでに作成した資料（チラシ、冊子）を公開し、いつでもご覧になっていただけるようにトップページの画面上に「資料庫」とでも呼ぶべきコーナーを設け、広く半永久的に読んでいただけるようにしている。

#### (2) アクセス件数について

HP画面上左側の下に、「2011.8.23～2012.3.6 5945」という数字がある。これは本校のHP開設（第1期）が「2011年8月23日」であったということと、学校評議員会での提案を取り入れて、山崎町のHP運営会社「Will 学習塾」の名賀様に依頼して現在のHPに作り替えた時、つまり「2012年3月6日」までの約半年間のアクセス数が「5945件」であったということを示している。3月7日にリニューアルされ、「第2期」となっている。

第2期に衣替えして以降、つまり「2012年3月7日」以降3年が経過した2015年3月末現在のアクセス数は、「約500,000件」である。今後とも、このアクセス件数に耐え得るだけの内容の充実と情報発信に努めたい。

## 千高だより

兵庫県立千種高等学校  
平成26年6月23日  
(第6期)

<http://www.chikasa-hs.jp/>

# 大夢磨心

タイムマシン  
——旅の舞台 永遠の思い出に  
第40回千種高等学校文化祭  
6月14日(土)

主催者の目利きあるダンスを皮切りに、文化祭がスタートしました。スタートは各学年・クラス・部活が練習の成果を存分に発揮しました。

**学年劇**

3年 Congratulation!

2年 1945年12月12日

1年 1年1組 大団円

**各クラス・有志**

1年 1年1組

2年 2年1組

3年 3年1組

高学年は、クラス、生徒会やPTA、地域の有志の協力で大いに盛り上げました。高学年もたくさんありました。千種からの中高連携スポーツも、多量の思い出を作ることができました。ご観覧ください。練習、観覧ありがとうございました。

10月28日(日) 第40回千種高等学校文化祭

11月14日(土) 第40回千種高等学校文化祭

## 千高だより

兵庫県立千種高等学校  
平成27年2月10日  
(第19期)

<http://www.chikasa-hs.jp/>

# アクティブテイス

1月29日(木)・30日(金)  
ちく之高原スキー場

1学期が、就業体験とスキー実習が中心で行って一日3つ体験させていただきました。就業体験は、スタッフの中心に活動になりながら、一生懸命頑張りました。高校生と高校生、社員さんに入社体験ができました。また、ちく之高原の自然環境も素晴らしいです。スキー実習では、経験者と初心者(1年生)が、インストラクターさんに指導(地元)の地で、全員がリフトと乗り、ゲレンデを下りることができました。

**就業体験**

1月29日(木) ちく之高原スキー場

2月4日(水) ちく之高原スキー場

**スキー実習**

1月29日(木) ちく之高原スキー場

2月4日(水) ちく之高原スキー場

## 部活動速報

**ゴルフ部**

1月28日(水) ちく之高原スキー場

2月4日(水) ちく之高原スキー場

**ボランティア部**

1月29日(木) ちく之高原スキー場

2月4日(水) ちく之高原スキー場

少人数の部活動から始めるので、1チームと2チームに分かれて練習しています。

少人数の部活動から始めるので、1チームと2チームに分かれて練習しています。

## 千高だより

兵庫県立千種高等学校  
平成26年10月30日  
(第13期)

<http://www.chikasa-hs.jp/>

# ちくさみれお! フェスタ

10月28日(日) 雨天  
金今入公民館、千高地の森

**中高連携吹奏楽部**

10月28日(日) ちく之高原スキー場

**バレー部**

10月28日(日) ちく之高原スキー場

**野球部**

10月28日(日) ちく之高原スキー場

**軽音楽部**

10月28日(日) ちく之高原スキー場

**1914部**

10月28日(日) ちく之高原スキー場

**2年吹奏楽部**

10月28日(日) ちく之高原スキー場

ちくさみれお! フェスタが開催され、スタートに立っていただき、観覧の皆さんありがとうございました。観覧の皆さんありがとうございました。観覧の皆さんありがとうございました。

**西園寺高校生徒会スピーチコンテスト**

10月28日(日) ちく之高原スキー場

**11月の予定**

1日(土) 2年生進級式

2日(日) 1914部練習

4日(火) 運動会

5日(水) 運動会

8日(土) 1914部練習

10日(月) 運動会

17日(月) インポート

22日(土) 運動会

23日(日) ヒロシタス大会

25日(火) オープンスクール

26日(水) アクティブテイス実習

29日(土) 運動会

**芝生化事業**

10月28日(日) ちく之高原スキー場

11月の予定

1日(土) 2年生進級式

2日(日) 1914部練習

4日(火) 運動会

5日(水) 運動会

8日(土) 1914部練習

10日(月) 運動会

17日(月) インポート

22日(土) 運動会

23日(日) ヒロシタス大会

25日(火) オープンスクール

26日(水) アクティブテイス実習

29日(土) 運動会

## 千高だより

兵庫県立千種高等学校  
平成27年3月9日  
(第21期)

<http://www.chikasa-hs.jp/>

# 第40回卒業証書授与式

2015.2.28(日)

**卒業生**

2015.2.28(日) ちく之高原スキー場

**卒業生**

2015.2.28(日) ちく之高原スキー場

卒業生が、卒業証書を受け取りました。卒業生が、卒業証書を受け取りました。卒業生が、卒業証書を受け取りました。

**卒業生**

2015.2.28(日) ちく之高原スキー場

**卒業生**

2015.2.28(日) ちく之高原スキー場

## 部活動日誌

1年生の卒業生が、第27回卒業証書授与式に参加しました。卒業生が、卒業証書を受け取りました。卒業生が、卒業証書を受け取りました。

1年生の卒業生が、第27回卒業証書授与式に参加しました。卒業生が、卒業証書を受け取りました。卒業生が、卒業証書を受け取りました。

68